

令和6年 7 月 25 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 社会（地理的学習）

代表者 呉市立 豊栄中 学校

氏名 小山 肇

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【社会（地理的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①学習課題の示し方
方 法	○1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例

発行者	調査・研究内容
東書	1時間ごとの学習課題の記載の仕方 ○ 「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 記載例 「世界の姿」 ○ 「大陸と海洋は、どのように分布しているでしょうか。また、世界はどのように区分することができるでしょうか。」 ○ 「地球上のさまざまな場所の位置を表すには、どのような方法があるでしょうか。」
教出	1時間ごとの学習課題の記載の仕方 ○ 「地図から見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのような～でしょうか。」「～比べましょう。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 記載例 「世界の地域構成」 ○ 「陸地と海の分布にはどのような特徴があるのでしょうか。」 ○ 「世界の国々について、面積や人口に注目して比べましょう。」
帝国	1時間ごとの学習課題の記載の仕方 ○ 「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～だろうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 記載例 「世界の姿」 ○ 「地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分することができるのだろうか。」 ○ 「世界の国々や都市の位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。」
日文	1時間ごとの学習課題の記載の仕方 ○ 「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの下に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 記載例 「世界の地域構成」 ○ 「地球上で、大陸や海洋はどのように広がっているのでしょうか。」 ○ 「地球儀と世界地図には、それぞれどのような特色があるのでしょうか。」

【社会（地理的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○「日本の諸地域」における日本の地域区分，中核とした考察の仕方及び内容

発行者	調査・研究内容	
東書	日本の地域区分	中核とした考察の仕方
	九州地方	自然環境
	中国・四国地方	交通や通信
	近畿地方	人口や都市・村落
	中部地方	産業
	関東地方	交通や通信
	東北地方	生活・文化
	北海道地方	自然環境
	考察する内容（近畿地方） ○ 人口や都市・村落に注目 1 近畿地方をながめて 2 大都市圏の形成と古都の歴史 3 ニュータウンの変化と農村の変化 4 山村・漁村の暮らしと地域の結び付きの変化	
教出	日本の地域区分	中核とした考察の仕方
	九州地方	自然環境とその保全
	中国・四国地方	人口集中や人口減少
	近畿地方	歴史的な視点
	中部地方	産業
	関東地方	交通・通信
	東北地方	地域の伝統文化と産業の変化
	北海道地方	自然環境と関連する産業
	考察する内容（近畿地方） ○ 歴史的な視点から、近畿地方の特色を考えていこう。 1 歴史に育まれた地域 2 京都の街並みと伝統文化 3 阪神工業地帯の発展と今後 4 都市の成り立ちと広がり 5 琵琶湖の水の利用と環境	
帝国	日本の地域区分	中核とした考察の仕方
	九州地方	自然環境
	中国・四国地方	交通や通信
	近畿地方	環境保全
	中部地方	産業
	関東地方	人口や都市・村落
	東北地方	生活・文化

	北海道地方 自然環境 考察する内容（近畿地方） ○ 環境保全に注目して 1 近畿地方の自然環境 2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み 4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 5 環境に配慮した林業と漁業
日文	日本の地域区分 中核とした考察の仕方 九州地方 自然環境 中国・四国地方 交通・通信 近畿地方 歴史的背景 中部地方 産業 関東地方 人口や都市・村落 東北地方 持続可能な社会づくり 北海道地方 自然環境 考察する内容（近畿地方） ○ 歴史的背景をテーマに 1 近畿地方の自然環境と人々のかかわり 2 現在にいきづく歴史的都市の特色 3 港町から世界へ 4 伝統を生かした産業と世界進出 5 歴史を未来へつなぐ取り組み

【社会（地理的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

発行者	調査・研究内容
東書	○ 北方領土・竹島と尖閣諸島 領土をめぐる問題をかかえる島々 ・項目 「地理的に見る島々の特色」「水産資源にめぐまれた竹島」「貴重な自然が残る北方領土」「資源が期待される尖閣諸島」 ・地図 「竹島、尖閣諸島、北方領土の位置」「竹島の2万5000分の1地形図」「北方領土周辺の地形」「歯舞群島がのる20万分の1地勢図」「久場島の5万分の1地形図」 ・写真 「竹島」「断崖に囲まれた竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「自然環境にめぐまれた択捉島」「尖閣諸島の南小島、北小島、魚釣島」「尖閣諸島の久場島」
教出	○ 日本の領土をめぐる 日本国境をめぐるさまざまな動き ・項目 「北方領土をめぐる問題」「竹島と尖閣諸島」 ・年表 「北方領土に関する主なできごと」 ・地図 「北方領土とその周辺」「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」 ・写真 「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」「竹島」「尖閣諸島」
帝国	○ 日本の領域とその特徴 ・項目 「国際法に基づく日本の領土」「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 ・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」「竹島の位置」「尖閣諸島の位置」 ・写真 「北方領土の島々」「日本国民と北方領土に住むロシア人との交流」「竹島」「隠岐の人々が行っていた竹島での漁の様子」「尖閣諸島」 ・読み物資料 「漁業が盛んだった昔の竹島」 ・注釈 「日本は、サンフランシスコ平和条約において、樺太（サハリン）の一部や千島列島を放棄しましたが、北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場をとっています。」
日文	○ 日本の領域をめぐる問題をとらえよう ・項目 「北方領土」「竹島」「領土問題の解決に向けて」「尖閣諸島をとりまく情勢」 ・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」「北方領土付近の国境の変化」 ・写真 「羅臼町から見た国後島」「元島民らによる洋上からの先祖の慰霊」「竹島」「竹島に関する資料を展示する「竹島資料室」「尖閣諸島」「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」「北方領土・竹島・尖閣諸島などに関する資料を展示する国立の施設「領土・主権展示館」」

【社会（地理的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
方 法	○「世界の諸地域」の地域区分、主題（地球的課題）の記載及び知識及び技能を身に付けさせる記載例

発行者	調査・研究内容	
東書	「世界の諸地域」の地域区分	主題（地球的課題）
	アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	人口・居住・都市の問題 国家間の統合の問題 食料生産や経済発展での支援の問題 地域格差の問題 環境保全と開発の問題 多文化社会の形成の問題
教出	知識及び技能を身に付けさせる記載例	
	○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「未来にアクセス」というコーナーを設けている。 ○ 本文に「＋解説」を付け、「＋もっと解説」で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。	
帝国	「世界の諸地域」の地域区分	主題（地球的課題）
	アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州	都市・居住問題 経済格差 食料問題 生産と消費の問題 熱帯林の破壊

	オセアニア州	多文化の共生
	知識及び技能を身に付けさせる記載例 ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理プラス」「未来に向けて」というコーナーを設けている。 ○ 本文に「解説」や丸数字を付け、「解説」や本文側注で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。	
日文	「世界の諸地域」の地域区分 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	主題（地球的課題） 経済発展の地域格差や都市問題 統合のかげで広がる格差と対立 モノカルチャー経済からの自立 大量生産・大量消費の生活スタイル 熱帯雨林の伐採による環境破壊 多様な民族の共生
	知識及び技能を身に付けさせる記載例 ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理＋α」というコーナーを設けている。「スキルUP」というコーナーを設けて、学習に必要な技能について解説している。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。	

【社会（地理的分野）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	④見方・考え方を働かせるための工夫
方 法	○社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例

発行者	調査・研究内容
東書	○ 巻頭ページに、「地理を学ぶ5つのミカタ」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」を示している。 ○ 編や章の導入に「地理のミカタ」として、「見方・考え方」を示し、学習のまとめに「見方・考え方」を働かせる学習活動を設定している。ページによっては、「見方・考え方」を働かせる視点の例を示したマークを示している。 ○ 「世界の諸地域」の節ごとのまとめに、「見方・考え方」と資料を結びつけた「資料を活用する力をきたえよう」というページを設けている。
教出	○ 巻頭ページに、「地理の学習を始めるにあたって…」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や広がり（分布）」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」を示している。 ○ 編や章の始めのページの下欄の「見方×考え方」をはたらかそうに、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。
帝国	○ 巻頭ページに、「地理的な見方・考え方」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人間と自然の関わり」「他地域との結びつき」「地域の特徴」を示している。 ○ 章や節の振り返りのページに働かせる「見方・考え方」を示している。 ○ 地理的な見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする特設ページ「アクティブ地理AL」を設けている。
日文	○ 巻頭ページに、「地理的な見方・考え方って？」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人間と自然のかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」を示している。 ○ 編や章の導入ページや本文ページの見開きページごとに、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。

【社会（地理的分野）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	⑤学習のまとめの工夫
方 法	○単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例

発行者	調査・研究内容
東書	「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例 ○ アジア州 経済発展についての資料を発表し合い、それぞれの地域や国で経済が成長した理由と、それによって起きた変化や課題を整理した図を参考に、単元の探究課題「アジア州の経済発展は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。 ○ ヨーロッパ州 ヨーロッパ統合のきっかけや良い影響、課題を表す資料を発表し合い、図に整理し、「今後統合を進めるべきか」について話し合う。単元の探究課題「ヨーロッパ州での国家間の統合は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。 ○ アフリカ州 アフリカ州の課題についての資料を発表し合い、「産業」「民族」「医療」の三つの側面から、アフリカ州の課題と、それに対する取り組みについてまとめ、その他に考えられる取り組みを話し合う。単元の探究課題「アフリカ州では、どのような国際支援が必要でしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。 ○ 北アメリカ州 経済発展についての資料を発表し合い、「農業」「工業」「生活文化」の三つの側面から、北アメリカ州（アメリカ合衆国）の発展の様子と移民とのかかわりを図に整理した図を見て、北アメリカ州の経済成長と移民のかかわりについて話し合う。単元の探究課題「北アメリカ州に多く見られる移民は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。 ○ 南アメリカ州 自然環境についての資料を発表し合い、南アメリカ州の開発と環境保全について図に整理する。単元の探究課題「南アメリカ州の開発と環境保全には、どのような課題があるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。 ○ オセアニア州 貿易や人々の移動の変化についての資料を発表し合い、「貿易の結び付き」「人の結び付き」の変化やその理由を図に整理し、異なる文化を持つ人々との共存の在り方を話し合う。単元の探究課題「オセアニア州では、どのような地域との結び付きが強くなっているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。

教出	「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例 ○ アジア州 アジアの国や地域について、経済成長によって生じた影響を、良い点と課題に分けて整理した表から国・地域を1つ選んで、そこで生じている課題の原因について考え、「持続可能な社会」を実現するためにはどのような取り組みが必要か、グループで話し合う。 ○ ヨーロッパ州 「ヨーロッパでは、環境対策としてどのようなことが行われているか。」「私たちは温暖化防止のために何ができるか。」について話し合う。ヨーロッパ統合の良い点と課題についてまとめる。 ○ アフリカ州 アフリカ州への援助の例を、一つの国でもできること、多くの国が一体となって行うこと、効果がすぐに出る・効果がすぐに出にくい軸で示した図のどこに「食糧援助」「(産業への) 技術支援」「フェアトレード」があてはまるのかを考える。これらを踏まえて、アフリカの国々の支援や援助に必要な工夫について考える。 ○ 北アメリカ州 アメリカ合衆国で盛んな工業を二つ挙げ、その理由について表に整理する。アメリカ合衆国で多民族が共存するために解決しなければならない問題を一つ挙げ、その問題を解決するために必要と考えることを書き出し、グループで話し合う。 ○ 南アメリカ州 アマゾン川の開発について、流域の森林が失われている理由、流域で暮らす人々の生活の変化、南アメリカの経済成長との関係の順でまとめる。南アメリカで開発が進んだ要因について、「都市の変化」「産業の変化」「自然環境の変化」「生活・文化の変化」の視点で図に整理し、グループで話し合う。 ○ オセアニア州 各国の主な輸出品からオーストラリアと他の先進国を比較し、気付いたことをまとめる。観光地の規制をテーマにした文章から、「先住民」「ホテル経営者」「観光客」のそれぞれの立場でどのようなことを感じているか想像し、グループで話し合う。
-----------	---

帝国	「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例 ○ アジア州 1節の問い「アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アジア州における経済成長の背景と地域への影響を、国や地域ごとに図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。 ○ ヨーロッパ州 2節の問い「ヨーロッパ州では、国どうしの結びつきの強まりによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ヨーロッパ州におけるEUの統合による効果とEUの統合によって生じた課題を、「人の動き」「物の動き」「通貨」「産業」の視点で図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。 ○ アフリカ州 3節の問い「アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アフリカ州におけるモノカルチャー経済の背景と地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。 ○ 北アメリカ州 4節の問い「北アメリカ州では、巨大な産業が発達したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アメリカ合衆国における産業の特色と地域への影響を図にまとめる。それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を話し合う。 ○ 南アメリカ州 5節の問い「南アメリカ州では、農地や鉱山の開発によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ブラジルにおける農地や鉱山の開発による影響を「プラスの面」「マイナスの面」を埋め、図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。 ○ オセアニア州 6節の問い「オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、オーストラリアにおける、他地域との結びつきと地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。
----	--

日文	「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例 ○ アジア州 学習した内容を「人口（都市・農村）」「資源・エネルギー」「産業（農業・工業）」「他地域との関係・国際協力」の視点で図に整理し、第1節の問い「アジアの国々は、どのように経済発展しているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「経済発展の地域格差や都市問題」に含まれる課題を整理して一つ選び、解決策をグループで話し合う。 ○ ヨーロッパ州 学習した内容を図で整理し、第2節の問い「ヨーロッパでは、どのように統合が進められ、どのような課題があるのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「統合のかげで広がる格差と対立」を踏まえ、イギリスの離脱前と離脱後の人々の意見を参考にして、EU離脱についてグループで議論する。 ○ アフリカ州 学習した内容を図で整理し、第3節の問い「アフリカの国々は、資源などにたよる経済をどのように克服しようとしているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「モノカルチャー経済からの自立」を解決するために優先させるべき取組についてグループで議論する。 ○ 北アメリカ州 学習した内容を図で整理し、第4節の問い「北アメリカの産業は、世界にどのような影響をあたえているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「大量生産・大量消費の生活スタイル」についての、アメリカの人々の意見を読み、共感できる考えについてグループで議論する。 ○ 南アメリカ州 学習した内容を図で整理し、第5節の問い「南アメリカの開発と環境保全は、どのような状況になっていて、何が問題になっているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「熱帯雨林の伐採による環境破壊」を解決するために様々な立場の人々と熱帯雨林を守る方法について、自分の考えをまとめる。 ○ オセアニア州 第6節の問い「オセアニアでは、どのように多様性を尊重する社会づくりを進めているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「多様な民族の共生」について考えたことを踏まえ、自分の考える多文化社会について図でまとめ、グループで議論する。
-----------	---

【社会（地理的分野）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥単元の導入における工夫
方 法	○各単元の導入における学習の見通しをもたせる工夫及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫 ○ 単元の導入において、1 ページを使い、テーマ、地図やグラフ、写真、キャラクターの吹き出し、コラム、県章・シンボルを記載している。 ○ 第1時と第2時の間に「～地方を～の視点で見よう」があり、探究課題や学習内容が示されている。 具体例（中部地方） ○ テーマ 「産業に注目」 ○ 中部地方の地図 ○ 中部地方の面積・人口の帯グラフ ○ 写真 「中部地方で生産される農産物や工業製品」 ○ キャラクターと吹き出し 「中部地方には、世界的に有名な自動車会社の工場があるね。」「ほかにどんな産業があるのだろう。」 ○ コラム 「高原野菜から顕微鏡まで」 ○ 探究課題 「中部地方の産業は、どのような条件に支えられて発展してきたのでしょうか。」 ○ 学習内容 「中京工業地帯と東海の産業」「中央高地の産業の移り変わり」「北陸の米づくりと個性ある地場産業」
教出	「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫 ○ 単元の導入において、2 ページを使い、学習の視点、地図やグラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。 ○ 見開きページの右下に「学習の視点」を示すとともに、学習の視点について説明している。 具体例（中部地方） ○ 学習の視点 「産業の視点から、中部地方の特色を考えていこう。」 ○ 中部地方の地図 ○ 中部地方の面積・人口の帯グラフ ○ 写真 「越前和紙を漉く」「世界有数の豪雪地帯を訪れる観光客」「越後平野の稲作地帯」「上高地」「小千谷縮の雪さらし」「出荷時期をずらして生産されるぶどう」「燃料電池車を製造する工場」「遠洋漁業の基地・焼津港」「茶畑が広がる丘陵地帯」

	○ キャラクターと吹き出し 「それぞれの産業が、どのような工夫をしているのか、確かめよう。」「なぜ、ぶどうの出荷時期を遅らせるのかな。」 ○ 学習の視点の説明文 「中部地方には農業、工業、観光などさまざまな産業が発達し、その重要性は年々増えています。中部地方でこれらの産業が発展した背景や特色を考えていきましょう。」
帝国	「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫 ○ 単元の導入において、3ページを使い、イラスト、地図、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。 ○ 単元の導入の3ページ目の下部に、「～地方の学習を見通そう」を設け、学習の視点を示し、4ページ目の上部に節の問いを記載している。 具体例（中部地方） ○ イラスト 「兼六園」「黒部ダム」「長岡まつり大花火大会」「福井駅と恐竜広場」「鶯飼」「名古屋城と本丸御殿」「善光寺」「ワインセラー」「オートバイの生産」 ○ 中部地方の地図 ○ 写真 「名古屋港の自動車運搬船と自動車」「眼鏡枠の生産」「白川郷の合掌造り」「水田が広がる越後平野」「金沢箔の工房」「春先の立山黒部アルペンルート」「トイレットペーパーをつくる工場」「初夏の上高地」「甲府盆地を走る山梨リニア実験線」 ○ キャラクターと吹き出し 「なんでこんなにたくさんの自動車が集められているのかな。」「中部地方では、自動車だけでなく、いろいろなモノがつくられているね。」 ○ 中部地方の学習を見通そう 「この節では、写真①～⑨のような中部地方の様子が、特に「産業」の視点とどのように関係しているのかを中心に考えていこう。」 ○ 4節の問い 「中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。」
日文	「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫 ○ 単元の導入において、2ページを使い、テーマ、地図、グラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。 ○ 第1時と第2時の間に「節の問いを立てよう」があり、節の問いやキーワードが示されている。 具体例（中部地方） ○ テーマ 「産業をテーマに」 ○ 中部地方の地図 ○ 中部地方の面積・人口・県内総生産の帯グラフ ○ 写真 「名古屋港のふ頭で自動車運搬船に積みこまれる多くの自動車」「白川郷の合掌造

	り」「富士山をのぞむ日本の東西交通網」「広大なチューリップ畑」「山梨リニア実験線」「せともの祭」「秋の白米千枚田」 ○ キャラクターと吹き出し 「こんなに多くの自動車は、どこで生産されているのかな。」 ○ 第4節の問い 「中部地方では、どのようにして特色のある産業が盛んになったのでしょうか。」 ○ 学習の見通しをもとう 第4節のキーワードを5つ挙げ、節のテーマとともに示している。
--	---

【社会（地理的分野）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方 法	○「地域の在り方」における調査の手順及び方法の記載例

発行者	調査・研究内容	
東書	調査の手順	方法の記載例
	○ 課題をとらえ、問いを立てよう	・ 学んできたことをふり返ろう ・ 地域とテーマを決めよう
	○ 地域を調査し、課題をとらえよう	・ 地域の特色と課題を調べよう ・ 地域の移り変わりに注目しよう
	○ 課題の要因や影響を考察しよう	・ ほかの地域を調べて比べよう ・ 要因や影響を考察しよう
	○ 解決策を議論し、構想しよう	・ 課題の解決策を構想しよう ・ 構想したことを議論して深めよう
	○ 地域のこれからを提案し、発信しよう	・ 説得力のある提案をしよう ・ 地域の未来像を広く発信しよう ・ 発信方法の例 「プレゼンテーションソフトの活用」「動画を使った発信の仕方」
教出	調査の手順	方法の記載例
	○ 地域の課題をとらえる	・ 地域の課題をとらえる ・ 都市の課題 ・ 農村の課題
	○ 地域の課題を調べよう	・ 地域調査の方法を振り返ろう ・ 地域調査を始めよう
	○ 地域の特色をまとめよう	・ 水俣市を例に ・ 水俣病の発生 ・ 環境改善に向けて
	○ 調査結果を整理しよう	・ 課題を整理する ・ 調査結果をまとめて発表準備に取りかかろう
	○ 調査結果を地域に伝えよう	・ 発表会をしよう ・ 研究をさらに広げていくために ・ 発信方法の例 「スライドにまとめる」「ポスターにまとめる」

帝国	調査の手順	方法の記載例
	○ 追究するテーマを決めよう	・ さまざまな課題を振り返ろう ・ 追究するテーマを決めよう
	○ 地域の実態を調査しよう	・ 資料と情報を収集しよう
	○ 地域の魅力と課題を分析・考察しよう	・ 資料と情報を整理しよう ・ 魅力と課題の要因を考察しよう
	○ 地域の課題の解決策を構想しよう	・ 課題の解決に向けた取り組みを調べよう ・ 解決策を構想しよう ・ 構想した解決策を議論しよう
日文	○ 解決策と魅力を高める提案をしよう	・ 構想したことをまとめよう ・ 地域社会に向けて発信しよう ・ 持続可能な社会を目指す一員として ・ 発信方法の例 「プレゼンテーション資料の作り方」
	調査の手順	方法の記載例
	○ 考察・構想するテーマを決めよう	・ 持続可能な社会づくりを意識する ・ 多面的・多角的に考察・構想する
	○ 地域の課題の解決策を考察しよう	・ 地域の課題の解決策を考える ・ 課題の解決につながる取り組みを調べる
	○ 情報を集めて構想しよう	・ 地域の在り方を構想する情報を集める ・ 情報を共有して構想する
	○ 構想した内容を整理してまとめよう	・ 構想した内容をまとめる ・ 提案を地域に発信する
	○ 構想した内容を発信しよう	・ より良い地域の将来像を発信し、社会に参画しよう ・ 発信方法の例 「1枚の地図にまとめる」「発表会を開く」

【社会（地理的分野）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧単元や資料等の配列・分量
方 法	○総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容のページ数

発行者	調査・研究内容
東書	総ページ数…294 「世界と日本の地域構成」のページ数…26 「世界の様々な地域」のページ数…110 「日本の様々な地域」のページ数…136 巻末資料の内容（ページ数）…用語解説（4）さくいん（4）巻末資料（3） その他…11
教出	総ページ数…310 「世界と日本の地域構成」のページ数…20 「世界の様々な地域」のページ数…103 「日本の様々な地域」のページ数…157 巻末資料の内容（ページ数）…用語解説（6）さくいん（4）巻末資料（3） その他…17
帝国	総ページ数…310 「世界と日本の地域構成」のページ数…24 「世界の様々な地域」のページ数…102 「日本の様々な地域」のページ数…166 巻末資料の内容（ページ数）…さくいん（4）巻末資料（3） その他…11
日文	総ページ数…318 「世界と日本の地域構成」のページ数…24 「世界の様々な地域」のページ数…104 「日本の様々な地域」のページ数…163 巻末資料の内容（ページ数）…統計資料（4）用語解説（4）さくいん（4） 巻末資料（3） その他…12

【社会（地理的分野）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑨防災教育の充実
方 法	○「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例

発行者	調査・研究内容
東書	日本の地域的特色と地域区分 ○ 日本で見られるさまざまな自然災害 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 ・ 地震や火山による災害 ・ 気象による自然災害 ○ 防災・減災に向けた取り組みと課題 2ページを使い、防災・減災の取組について記載している。 ・ 災害への対応と支援 ・ 災害の被害を小さくする工夫 ・ 自助・共助と防災の課題 ○ 特設ページでは、2ページを使い、ハザードマップの読み取り方と公共交通機関が災害からの復興に果たす役割について記載している。 日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方） ○ 九州地方 2ページを使い、火山灰、梅雨や台風等の災害と対策について記載している。 ○ 東北地方 2ページを使い、東北地方太平洋沖地震を含む東北沿岸でこれまでに発生した地震と、被害の記憶を引き継ぐ取組等について記載している。 ○ 北海道地方 2ページを使い、雪の中で生活するための工夫、火山による被害を減らす取組について記載している。
教出	日本の地域的特色と地域区分 ○ 自然災害に向き合う 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 ・ 地震と火山 ・ 気象災害 ○ 災害から身を守るために 2ページを使い、災害から身を守るために、国や県、地域社会でなされている努力について記載している。 ・ 災害予測の大切さ ・ 災害への支援と復興 日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方） ○ 九州地方 2ページを使い、火山活動による災害、自然を利用する暮らしの工夫や防災について記載している。

	○ 東北地方 特設ページで、2ページを使い、災害発生時の様子や復興への取組、まちづくり計画、東日本大震災の経験を受け継ぐ取組について記載している。 ○ 北海道地方 「火山と温泉」という見出しで、観光地の災害への備えや避難訓練等について記載している。
帝国	日本の地域的特色と地域区分 ○ 日本のさまざまな自然災害 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 ・ 地震と火山災害が多い日本 ・ さまざまな気象災害 ○ 自然災害に対する備え 2ページを使い、自然災害からの被害を防いだり減らしたりする取組について記載している。 ・ 防災・減災の取り組み ・ 災害発生時の対応 ○ 特設ページでは、2ページを使い、イラスト地図やハザードマップを使って、災害の危険性と防災情報の活用について記載している。 日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方） ○ 九州地方 2ページを使い、火山の噴火と対策について記載している。 ○ 東北地方 特設ページで、1ページを使い、高台に移転した宮古市田老地区の取組について記載している。 ○ 北海道地方 2ページを使い、北海道の人々の雪や寒さへの対策について記載している。
日文	日本の地域的特色と地域区分 ○ 自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 ・ 地震・火山による災害 ・ さまざまな気象災害 ・ 自然災害からみた日本の地域区分 ○ 災害にそなえるために 2ページを使い、防災・減災の取組を記載している。 ・ 防災・減災へのくふう ・ どのように災害と向き合うか ○ 特設ページでは、2ページを使い、地震の仕組みや南海トラフ巨大地震への備え、ハザードマップの使い方について記載している。 日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方） ○ 九州地方 2ページを使い、九州地方の自然災害と対策について記載している。

	○ 東北地方 4 ページを使い、東日本大震災による影響と復興、災害に強い地域づくりについて記載している。特設ページで、1 ページを使い、災害に備えた交通網について記載している。 ○ 北海道地方 2 ページを使い、寒さと雪への対策について記載している。
--	--

【社会（地理的分野）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方 法	○資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数

発行者	調査・研究内容
東書	「世界の諸地域」 写真・・・・・・ 149 絵 図・・・・・・ 13 地 図・・・・・・ 41 図表・グラフ・・・・ 45 二次元コード・・・・ 38
教出	「世界の諸地域」 写真・・・・・・ 113 絵 図・・・・・・ 8 地 図・・・・・・ 45 図表・グラフ・・・・ 37 二次元コード・・・・ 7
帝国	「世界の諸地域」 写真・・・・・・ 149 絵 図・・・・・・ 20 地 図・・・・・・ 34 図表・グラフ・・・・ 51 二次元コード・・・・ 20
日文	「世界の諸地域」 写真・・・・・・ 135 絵 図・・・・・・ 18 地 図・・・・・・ 27 図表・グラフ・・・・ 69 二次元コード・・・・ 48

【社会（地理的分野）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方 法	○ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト

発行者	調査・研究内容
東書	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 レイアウト ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。
教出	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 レイアウト ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分け、見開きページ左下の文字と見開き右側のインデックスで学習内容を示している。
帝国	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 レイアウト ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。
日文	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。

	レイアウト ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。
--	--

令和6年 7 月 25 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 社会(歴史的分野)

代表者 呉市立片山中 学校

氏名 西原有紀

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【社会（歴史的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①学習課題の示し方
方 法	○1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例

発行者	調査・研究内容
東書	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ 見開きごとにタイトルを「律令国家の成立と平城京」「平安京と律令国家の変化」等の項目で示し、タイトルの上に「なんと立派な、都ができた」「最澄と空海は、新しい仏教を伝えた」等の学習内容を表す副題を示し、タイトルの右横に「どのような」「どのように」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き左のページの下段に「チェック」、右のページの下段に「トライ」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。 〔記載例〕 3節 古代国家の歩みと東アジア世界 ○ 蘇我氏や聖徳太子は、どのような国づくりを目指したのでしょうか。 ○ 東アジアの国々との関係の中で、日本はどのような改革を進めていったのでしょうか。 ○ 律令国家はどのようにしてできあがり、その仕組みはどのようなものだったのでしょうか。 ○ 奈良時代の土地と税の制度にはどのような特徴があったのでしょうか。 ○ 奈良時代の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。 ○ 平安京に都が移り、政治や社会はどのように変わったのでしょうか。 ○ 平安時代の政治は、どのような特色を持っていたのでしょうか。 ○ 平安時代の貴族の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。 【「チェック」の例】 ○ 律と令は、それぞれどのようなものか、本文からぬき出しましょう。 【「トライ」の例】 ○ 律令国家が全国を支配した仕組みを、次の語句を使って説明しましょう。〔太政官／国・郡〕
教出	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ 見開きごとにタイトルを「木簡と計帳は語る」「望月の欠けたることもなしと思えば」等の項目で示し、タイトルの下に「奈良の都と律令制下の人々の暮らし」「平安の都と摂関政治」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの右横に「どのような」「どのように」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に「確認!」「表現!」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。 〔記載例〕 4節 貴族社会の発展 ○ 律令制のもとで、都の貴族や地方の農民は、どのような暮らしをしていたのでしょうか。 ○ 奈良時代には、どのような特色をもった文化が栄えたのでしょうか。

	○ 律令政治や貴族の勢力は、どのように移り変わっていったのでしょうか。 ○ 平安時代には、どのような文化が生まれたのでしょうか。 【「確認！」の例】 ○ 奈良時代には、どのような税が都に集められ、何に使われたか確かめよう。 【「表現！」の例】 ○ 墾田永年私財法によって、どのような変化が起こったか説明しよう。
帝国	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ タイトルを「揺れ動くアジアと倭国」「律令国家での暮らし」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に「確認しよう」「説明しよう」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。 〔記載例〕 第3節 中国にならった国家づくり ○ 蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくろうとしたのだろうか。 ○ 倭国（日本）はどのような改革を進めたのだろうか。 ○ 奈良時代の土地と税の制度にはどのような特色があったのだろうか。 ○ 奈良時代には、どのような特色をもった文化が展開したのだろうか。 【「確認しよう」の例】 ○ 律令国家のしくみを本文から書き出そう。 【「説明しよう」の例】 ○ 倭国（日本）の目指した国づくりを、大宝律令の特色を踏まえて説明しよう。
山川	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ タイトルを「律令国家の仕組みと人々の暮らし」「平城京と天平文化」等の項目で示し、タイトルの下に「どのような」「なぜ」等の表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ ページの下段に1時間の学習内容を踏まえて取り組む「ステップアップ」を設定している。 〔記載例〕 3節 律令国家の形成 ○ ヤマト政権は、どのような国づくりを目指したのだろうか。 ○ 7世紀の倭は、なぜ朝廷に政治権力を集中させようとしたのだろうか。 ○ 朝廷に権力が集中する中で、天皇と豪族との関係はどのように変化したのだろうか。 ○ 律令国家は、どのような仕組みで地域と人々を支配したのだろうか。 ○ 中国と朝鮮半島との交流は、奈良時代の日本にどのような影響をあたえたのだろうか。 【「ステップアップ」の例】 ○ 墾田永年私財法は、律令国家の支配にどのように役立ったのか、考えてみよう。
日文	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ タイトルを「奈良の都と人々の暮らし」「天平文化と聖武天皇」等の項目で示し、タイトルの右横に「律令に基づく統治のしくみ」「国際色豊かな文化」等の

	学習内容を表す副題を示している。タイトルの下に「どのような」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ ページの下段に「確認」「表現」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。 【記載例】 第3節 古代国家の展開 ○ 奈良時代の政治には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 奈良時代の文化には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の桓武天皇による政治には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の藤原氏による政治には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の国風文化には、どのような特色があるのでしょうか。 【「確認」の例】 ○ 律令政治や平城京は、どの国にならってつくられ、どのようなしくみになっているか確認しましょう。 【「表現」の例】 ○ 「税」をキーワードにして、律令制度における朝廷のねらいと、当時の人々の生活を説明しましょう。
自由社	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ 見開きごとにタイトルを「律令国家の建設と日本の国号」「古代律令国家の完成と平城京」等の項目で示し、タイトルの下に「どのような」「どんな」等の表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に「チャレンジ」を設定し、学習課題に対応した学習活動を示している。 【記載例】 第3節 律令国家の形成 ○ 聖徳太子が新しい政治を始める背景は何だったのだろうか。 ○ 聖徳太子の対等外交と天皇という称号の間には、どんな関係があったのだろうか。 ○ 蘇我氏はどのようにして倒され、天皇中心の国づくりが進んだのだろうか。 ○ 白村江の戦いでの敗北は、律令国家の建設にどんな意味をもったのだろうか。 ○ 日本の古代律令国家には、唐の制度と比べてどのような独自性があったのだろうか。 ○ 7～8世紀の飛鳥、天平の文化にはどのような特徴があったのだろうか。 ○ 摂関政治はどのようにして成立したのだろうか。 ○ 平安時代に国風文化が開いたのはなぜだろうか。 【「チャレンジ」の例】 ○ 唐の律令国家と日本の律令制の違いを説明してみよう。
育鵬社	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ 見開きごとにタイトルを「律令国家への歩み」「平安京と摂関政治」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に「確認」「探究」を設定し、学習課題に対応した振り返る課題を示している。

	〔記載例〕 第2節 「日本」の国の成り立ち ○ 厩戸皇子や蘇我馬子は、新しい国づくりを目指して、どのようなことをしたのでしょうか。 ○ 中国や朝鮮半島との関係の中で、どのような改革を進めたのでしょうか。 ○ 律令国家の下で、人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか。 ○ 唐の影響を受けた天平文化には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の天皇や貴族の政治は、どのようなしくみだったのでしょうか。 ○ 唐の影響がうすまり生まれた国風文化の特色は、どのようなものなのでしょうか。 【「確認」の例】 ○ 大化の改新は何をめざした改革だったか、その理由と内容について本文からぬき出して書きましょう。 【「探究」の例】 ○ 律令国家において、中央から各地に国司が派遣された理由を説明しましょう。
学び舎	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ 見開きごとにタイトルを「奈良の都」「北で戦い、都をつくる」等の項目で示し、タイトルの右横に「律令制の成立」「平安京と地方の政治」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの下に「どんな」「なぜ」等の表現で1時間ごとの学習課題を示している。 〔記載例〕 第2章 日本の古代国家 ○ 仏教の導入で、超高層の寺院が出現。そのあと倭国は、ゆるる東アジアにどう立ち向かうのか。 ○ 都に大量の品物が運ばれてきた。どんなしくみができたのか。国の内外にどんな変化があらわれたか。 ○ 口分田で農業に取りくむ人びとは、税としてどんな負担をしいられていたか。 ○ 伎楽や正倉院宝物、鑑真の来日からどんなことがわかるか。歴史書はなぜつくられたのか。 ○ バグダッドにはどんな人たちが集まってきたか。イスラムではどんな文化が生まれたか。 ○ 新しい都・平安京ができた。東北で、都や地方で、どんなことがおこなわれるようになったか。 ○ 紫式部と清少納言はどんなことを書いたのか。このころの文化にはどんな特色があるのだろう。
令書	〔1時間ごとの学習課題の記載の仕方〕 ○ タイトルを「大宝律令の完成は独立国の証」「日本」を名乗った大宝の遣唐使」等の項目で示し、タイトルの左横に「どのような」「なぜ」等の表現で学習課題を示している。 〔記載例〕 二 飛鳥時代 ○ 律令国家はどのように形成されていったのだろう。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 聖徳太子はどのような政治を行ったのだろう。○ 聖徳太子はなぜ隋との対等な外交を目指したのだろう。○ 大化の改新は政治にどのような影響を与えたのだろう。朝鮮半島の情勢の変化は日本にどのような影響を与えたのだろう。○ 律令国家はどのようにして完成段階に至ったのだろう。○ 大宝の遣唐使はなぜ「日本」を名乗ったのだろう。 |
|--|---|

【社会（歴史的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○文化遺産の示し方及び神話・伝承等に関する記載内容

発行者	調査・研究内容
東書	文化遺産の示し方 ○ 資料に「国宝」「世界遺産」「重要文化財」「世界の記憶」「無形文化遺産」のマークが付いている。 ○ 第1章2節「身近な地域の歴史」の中で「身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財」を示している。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「国家の仕組みが整い、国際的な交流が盛んになると、日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの由来を説明しようとする動きが朝廷の中で起こりました。そこで、神話や伝承、記録などを基に歴史書の「古事記」と「日本書紀」が作られました。また、全国に命じて、自然・産物・伝承などを記した「風土記」が国ごとに作られました。」 【特設ページ】 ○ 「現代に生きる神話」 ・ 2ページを使い、「記紀神話」の成立」「記紀神話」の展開」「日本の神話と世界の神話」「島根県と神話」「宮崎県と神話」を記載している。
教出	文化遺産の示し方 ○ 資料に「世界遺産」「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「律令制が整うなか、文書や記録の作成、情報や命令の伝達などで、貴族や役人は日常的に文字を使用するようになりました。国際的な交流が盛んになると、天皇が日本を治める由来を説明する歴史書として、神話や国の成り立ちを記した『古事記』・『日本書紀』がまとめられました。また、地方の国ごとに、地理や産物、伝承などを記した『風土記』もまとめられました。」 【特設ページ】 ○ 「神話にみる古代の人々の信仰」 ・ 2ページを使い、「日本の神話」「古事記に記された黄泉の国の物語」「神話にみる古代の人々の信仰とものの見方」を記載している。
帝国	文化遺産の示し方 ○ 資料に「世界遺産」「世界の記憶」「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「奈良時代初め、律令制の導入によって国のしくみが整ってくると、貴族や僧

	侶の間で文字を使うことが当たり前になりました。天皇が日本を治めることの正統性を明らかにしようとする動きも起こり、天皇家の由来を説明するための歴史書として『古事記』や『日本書紀』がつくられ、数々の神話がそこへ記されました。また、天皇が支配するすべての土地の地理的な情報を集めるため、産物や地名の由来、伝承などを国ごとにまとめた『風土記』もつくられました。」 【コラム】 ○ 「自然災害と神話」 ・ 1 ページを使い、『古事記』や『日本書紀』に書かれた「ヤマタノオロチの神話」の内容等について記載している。
山川	文化遺産の示し方 ○ 資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。 ○ 巻頭に「日本の世界遺産」を地図等とともに示している。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「律令国家が確立すると、天皇の由来や、天皇が国家をおさめる正当性を示すために、歴史書の編さんが行われた。天武天皇が命じた歴史書の編さん事業を引きつぎ、奈良時代には『古事記』と『日本書紀』が完成した。『古事記』は、神話の時代から推古天皇の時代までの、天皇の起源を説明する物語をまとめたものである。『日本書紀』は、中国の歴史書にならって漢文で書かれた日本で最初の歴史書で、神話の時代から持統天皇の時代までの歴史がまとめられた。 このほか、諸国には、国内の産物や地名の由来、古くからの伝承などを報告することが命じられ、国ごとに『風土記』がつくられた。」 【コラム】 ○ 「日本の神話」 ・ 1 ページを使い、『古事記』『日本書紀』『風土記』の内容等について記載している。
日文	文化遺産の示し方 ○ 資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図等とともに示している。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「律令国家のしくみが整ってくると、国家のおこりや天皇・貴族の由来などを説明するために、『古事記』や『日本書紀』などの歴史書がつくられました。このほか、全国の国ごとに、自然・地理・産物や伝説などについてまとめた『風土記』がつくられました。」 【特設ページ】 ○ 「日本の神話」 ・ 1 ページを使い、「神話とは何か」「『古事記』『日本書紀』の神話」「さまざまな神話」を記載している。

自由社	文化遺産の示し方 ○ 資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻頭に「日本の世界文化遺産」を地図等とともに示している。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「日本の国の成り立ちは、8世紀に完成した日本最古の歴史書である『古事記』『日本書紀』に、神話の形で書かれています。神話や伝承は超自然的な物語をふくみ、また後世に改変された部分もあって、ただちに歴史的事実として扱うことはできません。 しかし、これらの神話・伝承のものは、古代の人々が、自分たちの住む国土や自然、社会の成り立ちを、山や海への自然崇拝や、稲作祭祀など縄文・弥生以来の信仰なども取り入れながらまとめたものと考えられます。神々が織りなす物語は一貫したストーリーに構成され、大和朝廷の始まりにつながっています。」 「712年に『古事記』が完成し、全3巻の中に、民族の神話と歴史がすじみち立った物語としてまとめられました。次いで、720年には『日本書紀』全30巻が完成し、日本国家の正史として、歴代の天皇の系譜とその事績が年代順に詳細に記述されました。」 「朝廷は、地方ごとに伝説や地理、産物を調べて『風土記』として記録させました。」 【コラム】 ○ 「国譲り神話と古代人」 ・ 2ページを使い、「大国主神の「国譲り」「古代日本人のものの考え方」「姿をあらわす巨大空中神殿」を記載している。
育鵬社	文化遺産の示し方 ○ 資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻頭や巻末で世界遺産や国宝を地図等とともに示している。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「律令国家としての基礎ができあがるにつれ、日本の歴史が書物としてまとめられるようになりました。神々の物語や代々の天皇の業績を記した『古事記』や、国の正史（公式な歴史書）として代々の天皇やその業績を記した『日本書紀』がそれにあたります。また、朝廷の命令によって、各地の地理や産物、伝説などを記した『風土記』もつくられました。」 【特設ページ】 ○ 「神話に見る日本誕生の物語」 ・ 2ページを使い、「日本の神々の物語」「三種の神器と神武天皇」「伝説の英雄が活躍する神話」を記載している。
学び舎	文化遺産の示し方 ○ 第5章の扉ページ「世界遺産に見る世界」で世界遺産を示している。

	神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「朝廷は8世紀の前半に、中国の正史にならった歴史書の『日本書紀』を、神話の記録として『古事記』を完成させました。これらは、古くからの伝承もふくんでいます。天武天皇が、国の統一をすすめる目的で編さんを命じていたものです。」 「また、国ごとに言い伝えられたことをしるした『風土記』もまとめられ、出雲国（島根県）や常陸国（茨城県）などのものが残っています。」 【コラム】 ○ 「『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山」 ・ 1ページを使い、常陸国風土記に記された内容等について記載している。
令書	文化遺産の示し方 ○ 資料に、「国宝」「世界遺産」「重要文化財」のマークがついている。 神話・伝承等に関する記載内容 【本文】 ○ 「今から約一三〇〇年前の奈良時代、第四十代天武天皇の命令によって編纂された二つの書物が完成しました。『古事記』と『日本書紀』です。両方を合わせて記紀といいます。『古事記』は日本の神話などの伝承と歴代天皇の事績を伝えるため、また『日本書紀』は日本の歴史を伝えるために編纂されたと考えられています。『古事記』は今に伝わる書物のなかでは日本最古で、そこには、日本列島誕生の神話や日本建国の物語が書かれています。」 「遷都からまもない和銅五年（七一二）、天武天皇の命令によって編纂された『古事記』が、また養老四年（七二〇）に『日本書紀』がそれぞれ完成しました。同じ時代に二つの歴史書が書かれたのには理由があります。『古事記』は主に日本国内向けで、文学的要素が強く、天皇の根拠を明確にして建国のことを後世に伝える意図があると思われます。一方、『日本書紀』は国内外に向けて正史を伝えるためのものと思われます。『古事記』は万葉仮名と漢文の両方を折衷して書かれているため、主な読者として外国人は想定されていないものと考えられますが、『日本書紀』は漢文（古代中国語）で書かれているため、中国王朝や朝鮮の役人たちも読むことができました。このように書き分けられていることから用途の違いを知ることができます。」 『古事記』は稗田阿礼が日本各地の神話や伝承などを繰り返し読んで学び、それを太安万侶が文字に表したと伝えられます。「日本書紀」は舎人親王（天武天皇の皇子）が編纂しました。また、朝廷の命により、各地の神話、地理、産物などを記した風土記も編纂されました。」 【コラム】 ○ 「『古事記』の国譲り神話」 ・ 2ページを使い、『古事記』の国譲り神話について記載している。

【社会（歴史的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
方 法	○日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数及び内容

発行者	調査・研究内容	
東書	時代区分（コラム等の数）	内容
	古代（1）	○ 大陸への玄関口 福岡
	中世（1）	○ 東アジア世界の国々の交流と琉球文化
	近世（3）	○ 朝鮮人陶工と日本の陶磁器文化
		○ 朝鮮通信使が訪れた対潮楼
		○ アイヌの文化とその継承
近代（1）	○ メディアの発達が日本を変えた	
教出	時代区分（コラム等の数）	内容
	古代（1）	○ 神話にみる古代の人々の信仰
	中世（1）	○ 宋と高麗
	近世（2）	○ 大海を越える人と物
		○ 野國總管と青木昆陽
	近代（2）	○ 沖縄の歴史を調べよう
○ 北海道の歴史を調べよう		
現代（1）	○ とともに生きていくために	
帝国	時代区分（コラム等の数）	内容
	古代（2）	○ 上野三碑にみる渡来人の影響
		○ 時代とともに変わっていった衣服
	中世（2）	○ 東アジアに開かれた窓口 博多
		○ 東アジアの美、磁器
	近世（4）	○ 朝鮮半島から伝わった文化
		○ 琉球とアイヌ民族の暮らし
		○ 昆布ロードと北前船
		○ ワクチン接種の始まり
	近代（7）	○ 幕府の近代化への対応
		○ 世界に開かれた港 横浜
		○ 「絹の道」と日本の製糸業
		○ 国旗と国歌
		○ 祖国の音楽を紹介したドイツ兵
○ 人々を魅了した洋菓子文化		
○ 発展する産業都市 大阪・神戸		
山川	時代区分（コラム等の数）	内容
	古代（4）	○ 中国の記録に見る日本列島
		○ 日本の神話
		○ 神仏習合
		○ 福岡

	中世（４） 近世（２） 近代（２）	○ 海に眠っていた貿易船 ○ 琉球の歴史と文化 ○ アイヌ民族の歴史と文化 ○ 木綿栽培 ○ 砂糖 ○ 園芸文化 ○ 近代日本と女子留学生 ○ 「蛍の光」
日文	時代区分（コラム等の数） 中世（３） 近世（３） 近代（２） 現代（１）	内容 ○ 宋と高麗 ○ 東大寺の再興と重源 ○ 朝貢と冊封 ○ つながる世界と生活の変化 ○ 雨森芳洲 ○ 今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成 ○ 近代社会に日本を見つめ直す ○ 日本初の女子留学生と女子教育 ○ 在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン
自由社	時代区分（コラム等の数） 古代（１） 近世（１） 近代（１） 現代（１）	内容 ○ 世界にほこる女流文学 ○ 秀吉はなぜバテレン追放令を出したのだろうか ○ 日本の近代化とアイヌ ○ 水泳ニッポンと１９６４年の東京五輪
育鵬社	時代区分（コラム等の数） 古代（１） 近代（２） 現代（１）	内容 ○ 日本人の宗教観 ○ 外国人が見た日本 ○ 世界の平和に力をつくした新渡戸稲造 ○ 感染症の歴史
学び舎	時代区分（コラム等の数） 古代（２） 中世（４） 近世（４） 近代（２） 現代（３）	内容 ○ 今も読まれる孔子の「論語」 ○ 中国の歴史書に書かれた卑弥呼 ○ 博多に住みついた中国商人たち ○ 大仏再建の熱狂 ○ 帯と扇のネットワーク ○ アイヌの人びとがになう北方の交易 ○ ザビエルとアンジロー ○ 琉球王国の使節 ○ 長崎に荷揚げされた砂糖 ○ ラクスマンと大黒屋光太夫 ○ ６歳の女子留学生 ○ 「モダン・タイムス」と「独裁者」 ○ インディアラがやってきた ○ 東京オリンピック ○ 微力だけど無力じゃない

令書	時代区分（コラム等の数）	内容
	古代（2）	○ 聖徳太子はなぜ仏教を受容したのか
		○ 日本語の起源
	近代（1）	○ 日本を小国から大国に押し上げた明治天皇
	現代（2）	○ 古代オリンピックと近代オリンピック
		○ オバマ大統領の広島訪問

【社会（歴史的分野）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	④見方・考え方を働かせるための工夫
方 法	○特設ページ等を活用して思考させるための記載例

発行者	調査・研究内容
東書	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「メディアの発達が日本を変えた」 【項目】 「電信・電話の導入」「新聞・雑誌の誕生」「映画・ラジオと大衆社会」 【資料】 ・絵図：①急ごしらえされた電信柱 ・写真：②「国民之友」創刊号の表紙 ・人物：③梅屋庄吉 ・コラム：「マスメディアと政府」 【問い】 ・「現代につながるマスメディアや情報環境がどのように成立したか、見てみましょう。」 ・「本文に登場するメディアは、現在の私たちの生活にどのように関わっているか、調べましょう。」
教出	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「人口の変化と海外への移民」 【項目】 「過去の人口を知る方法」「日本の歴史と人口の移り変わり」「ハワイへの移住」「ブラジルへの移住」 【資料】 ・写真：①宗門改帳、③ハワイにある日本式の寺院、④ブラジルのコーヒー農園で働く日本からの移住者 ・文書資料 ・コラム：「国境を越える人々と多文化共生」 ・グラフ：②1800年以降の人口の移り変わり 【問い】 ・「人口の移り変わりには、どのような特徴や背景があるのか探ってみましょう。」 ・「①右の表をもとにグラフを完成させよう。現在の人口は、調べて記入しよう。」 ・「②1900年以降の人口増加の最も大きな理由は何だろうか。グループで話し合おう。」 ・「③今から50年後、100年後の予測人口はどれくらいか調べよう。」 ・「いろいろな地域や国の、多文化共生の取り組みについて調べてみよう。」
帝国	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「世界に開かれた港 横浜 ～開港とともに広がった文明開化～」 【項目】 「1横浜から広がった新たな文化 ①どうして横浜が港になったのかな？」「2外国商人の集まった街 横浜 ②居留地はどのようなところだったのかな？」

	【資料】 ・絵図：[1]横浜、[2]牛鍋を食べるざんぎり頭の男性、[3]開通したころの鉄道、[5]横浜港の様子、[6]生糸の品質を調べる欧米の商人 ・写真：[4]開港場が整備される前の横浜の様子、[7]1872年の外国人居留地 ・グラフ：[8]全国に占める横浜港の貿易の割合、[9]横浜港からの輸出入品 【問い】 ・「日米修好通商条約によって横浜が開港したけれど、当時の横浜はどのような所だったのかな。また、文明開化を迎えたとき、横浜からどのような新しい文化が各地に広まったのかな。」 ・「写真は、図[1]の地図内のどこからどの方向を撮影したものか、考えてみよう。」
山川	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」 【項目】 「1 富岡製糸場とは」「2 明治日本と製糸業」 【資料】 ・地図：[1]富岡製糸場の位置 ・絵図：[2]開業時の富岡製糸場 ・写真：[3]富岡製糸場、[4]繰糸場の内部、[5]フランス式繰糸機、[6]諏訪式繰糸機、[7]座繰り器 ・文書資料：和田英「富岡日記」 ・グラフ：[8]生糸の生産量と生糸の輸出量、[10]輸出品における生糸の割合 ・年表：[9]明治日本と製糸業 【問い】 ・「富岡製糸場が果たした役割について考えていきましょう。」 ・「富岡製糸場は、なぜ群馬県の富岡に設立されたのだろうか。この地域で江戸時代から盛んな産業は何か、生糸をつくるためには何が必要かを考えてみよう。」 ・「内陸の群馬県から開港場の横浜まで、生糸はどのような方法で運ばれたのだろうか。」 ・「筆者はどのような部分に、おどろいているだろうか。」 ・「建物の特徴を挙げてみよう。」 ・「写真[4]を見て、工場内でどのような工夫がなされているか考えてみよう。」 ・「作業をしやすくするために建物にはどのような工夫がなされているだろうか。」 ・「器械を見比べてちがうところを探してみよう。」 ・「材質のちがいに注目してみよう。」 ・「グラフ[8]・[10]や年表[9]を見て、製糸業はどのように変わっていったのか考えてみよう。」 ・「明治時代の日本は、なぜ製糸業に力を入れたのか考えてみよう。」
日文	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「経済発展か、環境保全か、足尾鉾毒事件を通して考えよう」 【資料】 ・地図：資料1 足尾銅山の鉾毒の被害 ・人物：田中正造 ・文書資料：資料3 田中正造の直訴状の内容、資料6 政府の主な対応 ・グラフ：資料4 日本の銅の生産量の推移、資料5 日本の輸出品に占める銅の

	割合 ・年表：資料2 足尾鉍毒事件の年表 【問い】 ・「1890（明治23）年ごろから、栃木県の足尾銅山の鉍毒が渡良瀬川に流れ出し、下流の田畑の作物が枯れ、魚が死ぬなどの被害が広まりました。また、銅山の煙害や用材のための森林の乱伐によって水源の山々ははげ山となり、1896年には大洪水が起こって、3万haをこえる土地が鉍毒におおわれました。こうしたなか、当時の人々はどのように対応したのでしょうか。銅山の操業停止と被害民の救済を求めた田中正造と政府の対応を学び、みなさんもこの問題について考えましょう。」 ・「田中正造はどのような事態を問題とし、帝国議会や天皇に何を訴えようとしたのでしょうか。」 ・「資料1～3から、足尾鉍毒事件の概要を確認して、田中正造の主張を読み取りましょう。」 ・「政府はなぜ、田中正造の訴えを全面的に認めなかったのでしょうか。またどうして、そのような決定をしたのでしょうか。」 ・「資料1・2と資料4～6を読み取り、当時の日本の状況と政府の方針との関連に着目しましょう。」 ・「あなたが当時の国民の一人だったら、国の経済発展と各地域の環境保全のどちらを重視し、優先しようと思いますか。ステップ1・2で読み取ったことなどをもとに、自分の考えをまとめましょう。」 ・「自分がそう考えた理由も整理して、クラスで意見交換をしましょう。」
自由社	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「明治維新とは何か」 【項目】 「欧米列強の植民地化をまぬがれる」「2つの中心が日本を救った」「アヘン戦争で強い危機感」「米百俵」の伝統 【資料】 ・人物：小林虎三郎 ・絵図：国漢学校の図 【問い】 ・「一国の統治者たちが、みずからその身分を廃止して新しい国をつくった世界に例のない改革は、なぜ実現できたのだろうか。」
育鵬社	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「外国人が見た日本」 【項目】 「クラーク “少年よ大志をいだけ”」「ナウマン 「フォッサマグナ」を発見」「パーマー 横浜水道を造る」「考古学者シュリーマンが見た日本人」「動物学者モースが見た日本人」「女性旅行家バードが見た日本人」「医学者ベルツが見た日本人」 【資料】 ・地図：[3]フォッサマグナ ・写真：[4]日本近代水道最古の水道管 ・人物：[1]さっぽろ羊ヶ丘展望台に立つクラーク像、[2]ナウマン、[6]シュリーマン、[7]モース、[8]イザベラ・バード、[9]ベルツ

	・表：[5]主なお雇い外国人の業績 【問い】 ・「幕末から明治時代にかけて来日した「お雇い外国人」が、身近な地域にいたか調べましょう。」 ・「幕末から明治時代に来日した外国人は、日本のどこに関心を持ったのか、グループで話し合ひましょう。」
学び舎	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 「対話・討論にチャレンジ 「学問のすゝめ」をどう読むか」 【項目】 「[1]「学問のすゝめ」を読み、要約する」「[2]感じたこと、思ったことをことばにして、対話・討論する」「[3]あるクラスの議論から」「[4]問いを深めていくということ、問いを学ぶということ」 【資料】 ・人物：福沢諭吉 ・写真：「学問のすゝめ」1871年初版本 【問い】 ・「次の現代語訳をじっくりと読んでみましょう。」 ・「次に、一人ひとりが、この文章をどう読みとったのか、福沢の主張に賛成か、反対か、意見交流・討論をしてみましょう。」 ・「(1) 自分の意見をノートに書いてみましょう。」 ・「(2) それを、二人組のペア、グループ・班、クラスなどに対して話してみましょう。」 ・「(3) …ところで、福沢は「人はみな平等である」と主張しているのでしょうか、それとも「不平等や格差が存在するには、それなりの理由がある」ということを主張しているのでしょうか。」
令書	特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代） ○ 福沢諭吉「学問のすゝめ」 【資料】 ・人物：福沢諭吉 ・コラム：「福沢諭吉の母は偉かった」 【問い】 ・「「無秩序な西洋化」とはどのような意味だろう？」 ・「日本史上、最も勉強して世の中に影響を与えた人物の一人・福沢諭吉は、どのような母に育てられたのでしょうか。」

【社会（歴史的分野）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	⑤学習のまとめの工夫
方 法	○単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための記載例

発行者	調査・研究内容
東書	記載例（中世の日本） ○ 「武士が生まれ、その支配が広がった中世の日本で、社会はどのように変化したのでしょうか。」という探究課題について、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。 ・探究課題の解決の前に、「政治の動き」「東アジアの情勢」「産業の発達」「文化の側面」の4つの視点から整理する学習活動を設定している。 ・探究課題の解決の前に、節の学習を振り返り、「なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。」「東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、民衆はどのようにして力を持つようになったのでしょうか。」という問いについて、まとめる場面を設定している。
教出	記載例（中世の日本） ○ 「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか。」という章の問いについて、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。 ・章の問いをまとめる前に、中世の政治や文化について説明する学習活動を設定している。 ・「学習のまとめと表現の流れ」として、「HOP！中世の時代の移り変わりを確かめよう」「STEP！①中世の政治や文化について説明しよう」「STEP！②資料を読み解いて、中世の時代を振り返ろう」「JUMP！「歴史的な見方・考え方」を使って、時代の特色を考えよう」の場面を設定している。
帝国	記載例（中世の日本） ○ 「武士による政治が行われたことによって、社会はどのように変化したのだろうか」という章の問いに対して、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。 ・「章の問い」をまとめる前に、中世の年表に記載している政治や国際関係の変化、生活や社会の様子について自分が重要と考える出来事にマーカーをつける学習活動を設定している。 ・単元の振り返りとして、「学習事項の確認」「節の振り返り」「章の振り返り」の場面を設定している。
山川	記載例（中世の日本） ○ 中世のまとめとして、4つの立場で問いについて、自分の考えを文章にまとめる。「海外から受けた影響」「宗教の果たした役割」について、自分の考えを文章にまとめる。 ・「武士」「農民」「守護」「荘園領主」の4つの立場を設定している。 ・4つの立場で考える際は、「鎌倉時代」から「戦国時代」の4つの時代区分ごとに自分の考えを文章にまとめ、「海外から受けた影響」「宗教の果たした役割」を考える際は、3つの区分ごとに自分の考えを文章にまとめる。
日文	記載例（中世の日本） ○ 「たえず戦乱がくり返される時代となったのは、なぜなのでしょう。」という編の問いについて、編の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。

	・「法」という視点を例に、中世の特色について考え、文章にまとめ、他の視点からも、中世の特色について文章にまとめる場面を設定している。 ・単元の振り返りとして「いつ、どこで、何があった?」「中世ってどんな時代?」「中世の学習をふり返ろう」の場面を設定している。
自由社	記載例（中世の日本） ○ 中世を振り返り、「中世はどんな時代だったのだろうか」について、「中世はひとことである」と「○○」の時代だった。」として、○○を埋めて、200字以内の作文を作る。 ・「北条時宗」と「足利義満」の中国とのかかわり方の違いについてまとめる場面を設定している。 ・作文を作る前に、「歴史用語ミニ辞典」の作成」「時代比較の問題」「人物比較の問題」の場面を設定している。
育鵬社	○記載例（中世の日本） 中世を振り返り、「武士が時代の主役になった中世は、どのような時代だったといえるのか」を考え、その理由と合わせてまとめ、それぞれの考えをみんなで話し合う。 ・この時代の人々の暮らしや社会の変化について、「市場で物品を売り買いする人々」「機織り」「馬借」の絵を参考にして、説明する場面を設定している。 ・中世についてまとめる前に、年表の空欄にあてはまる言葉を選び、戦いについて整理し、この時代で最も重要だと思う人物を選び、理由をまとめる。次に、歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選び、暮らしや社会の様子について、資料や前の時代の様子を参考にして説明する場面を設定している。
学び舎	記載例（中世の日本） ○ 中世を振り返り、「第2部・中世は、どのような人びとが力をもった時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら、自分の考えを文章にまとめましょう。」という問いについて、自分の考えを文章にまとめる。 ・中世について、人々の政策や行動、アジアの国々や地域との交流のようす、産業の発達や民衆の行動、仏教や文化の新しいごきや特色といった視点でそれぞれまとめる場面を設定している。 ・中世についてまとめる前に、歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選び、中世について4つの課題をまとめ、歴史絵画を解説・推理する場面を設定している。
令書	記載例（中世の日本） ○ 中世のまとめとして、4つの視点から、学習を整理する。また、日明貿易がどのように展開したかをまとめる。 ・「政治」「文化」「外交」「産業」の4つの視点を示している。 ・中世のまとめの前に、鎌倉時代に登場した新しい仏教について表にまとめ、それぞれの仏教の特徴をグループの中で発表し合う場面を設定している。

【社会（歴史的分野）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥単元の導入における工夫
方 法	○各単元の導入における学習の見通しをもたせるための工夫の具体例

発行者	調査・研究内容
東書	具体例（近世の日本） 【構成の概要】 2ページを使い、二次元コード、小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表、キャラクターの問い等や、資料の読み取り及び話し合い活動を示している。また、章や各節の学習課題とともに、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成している。 【章の学習課題】 「近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。」 【各節の学習課題】 ・「ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのでしょうか。」 ・「なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。」 ・「産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。」 【資料】 ・絵図（1南蛮人の来航、2江戸城、3、4参勤交代の行列、5歌舞伎、6新しい農具、7打ちこわしの様子） ・年表 【資料に係る学習活動】 ・「（個人活動）1・2にはどのような人々がえがかれているか、それぞれ読み取りましょう。」 ・「（グループ活動）1でえがかれている様子と関連の深いイラストを、右ページの年表から選び、どのような関連があるのか説明しましょう。」 ・「（グループ活動）1～7の資料を参考にしながら、前の時代と比べて、この時代になって変化していること、変化せずに続いていることはそれぞれ何か、話し合いましょう。」
教出	具体例（近世の日本） 【構成の概要】 3ページを使い、二次元コード、絵図、写真、地図、キャラクターの問い等や、人物のイラストを用いた年表及び資料の読み取りを示している。また、章の学習課題とともに、章に係る説明を示し、各節のタイトル及び各節に係る歴史的事象を示している。 【章の学習課題】 「近世の日本は、どのような政治のしくみをつくったのだろうか。」 【資料】 ・絵図（江戸城、江戸のまち①～⑤） ・写真（寛永通宝と慶長小判） ・年表

	・地図 【資料に係る学習活動】 ・「1 上の絵に描かれている江戸城と、前のページの絵に描かれている室町時代の将軍の邸宅（御所）を比べてみよう。建物や周辺の様子は、どのように変化したのだろう。」 ・「2 なぜ日本で貨幣がつくられるようになったのだろう。」 ・「3 室町時代から江戸時代にかけて、社会はどのように変化したのか予想してみよう。」 ・「Q1 ①～⑤には、どのような場所や人が描かれているだろうか。また、中世と比べて変わったところ、変わっていないところを考えてみよう。」 ・「Q2 江戸城やその城下町は、だれがどのようにつくったのだろうか。」 ・「Q3 中世と比べて、城下町や人々の暮らしが変化したのはなぜか、予想してみよう。」
帝国	具体例（近世の日本） 【構成の概要】 1 ページを使い、二次元コード、絵図、小学校で学んだ人物と主な出来事のイラストを用いた年表、キャラクターの問いを示し、話し合い活動や予想を書く活動を示している。章や各節の学習課題を示している。 【章の学習課題】 「全国を統一する政権の誕生によって、社会はどのように変化したのだろうか。」 【各節の学習課題】 ・「ヨーロッパの国々による世界進出は、各地の生活や文化にどのような影響を与えたのだろうか。」 ・「全国統一が進むなかで、社会はどのように変化したのだろうか。」 ・「江戸幕府はどのようにして全国を支配したのだろうか。」 ・「なぜ江戸時代に産業や経済が発達したのだろうか。」 ・「なぜ幕府はさまざまな改革を行ったのだろうか。」 【資料】 ・絵図（1「会津藩主参勤交代行列図」） ・年表 【学習活動】 ○ 「「学習する時代の見通し」をもとう」 ・「これから学習する時代について、どのような時代なのか、ほかの人と話し合ってみよう。その際、小学校で学習した人物や主な出来事、前の章で学習した時代の特色を踏まえよう。」 ・「この時代では、前の章で学習した時代からどのように社会が変化するか、予想を書こう。」
山川	具体例（近世の日本） 【構成の概要】 2 ページを使い、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて年表で示すとともに、章全体に係る説明を示し、日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を示している。 【資料】 ・写真（姫路城、オスマン帝国の都となったイスタンブールの街、サン＝ピエトロ

	大聖堂、タージ=マハル、ヴェルサイユ宮殿) ・絵図 (長篠の戦い、「南蛮屏風」、「最後の晩餐」、コロンブスの上陸、検地の様子、出帆を待つ菱垣廻船、聖堂学問所での講義、オランダ正月、大塩の乱、ボストン茶会事件) ・年表
日文	具体例 (近世の日本) 【構成の概要】 4 ページを使い、絵図、二次元コード、人物のイラストを用いた年表、写真、地図、キャラクターの問い等や、資料の読み取り、話し合い活動及び予想を書く活動を示している。章や各節の学習課題を示すとともに、キャラクターの言葉から章の学習課題を導くよう構成している。 ○ 章の学習課題 「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたのでしょうか。」 ○ 各節の学習課題 ・「ヨーロッパ人の来航や信長・秀吉の統一事業は、それまでの社会をどのように変えたのでしょうか。」 ・「江戸幕府は人々をどのように支配していたのでしょうか。」 ・「江戸時代の社会と政治は、どのように移り変わっていったのでしょうか。」 【資料】 ・絵図 (1 室町幕府の将軍が政治を行った建物のようす、2 江戸幕府の将軍が政治を行った建物のようす、4 ムスリム商人の船) ・年表 ・地図 ・写真 (3 イスタンブール) 【学習活動】 ○ 「「近世」という時代のイメージをつかもう」 ・「1」と2の特徴やちがいを読み取り、話し合しましょう。」 ・「室町幕府の将軍邸 (室町殿) と江戸城を比べると、大きさにちがいはあるか。」 ・「それぞれの建物の特徴にちがいはあるか。」 ・「今のあなたが考える「近世」という時代のイメージを書き出しましょう。」 ○ 「年表から「近世」という時代を見通そう。」 ・「年表を読み取り、話し合しましょう。」 ・「小学校で学んだ人物は、いつぐらいに登場しているか。」 ・「政治、社会、外交、文化の面で、いつ、どのようなことが起こっているか。」 ・「世界ではどのようなことが起こっているか。」 ○ 「日本と世界のつながりを確認しよう。」 ・「地図を読み取り、話し合しましょう。」 ・「p. 67 の地図と比べて、ユーラシア大陸の国々はどのように変化しているか。」 ・「「近世」の日本と世界は、どのようにつながっていたか。」
自由社	具体例 (近世の日本) 【構成の概要】 1 ページを使い、絵図、キャラクターの問い等とともに、小学校で学んだ近世の

	人物のイラストを時代順に示している。 【資料】 ・ 絵図（三浦屋の高尾、タンギー爺さん、五十三次名所図会 石薬師、雲龍打掛の花魁）
育鵬社	具体例（近世の日本） 【構成の概要】 4 ページを使い、年表、絵図、人物や歴史的事象のイラストを時代順に示し、キャラクターの問い等や資料の読み取りを示している。章全体に係る説明を示し、章及び各節の学習課題を示している。 ○ 章の学習課題 江戸時代の安定した社会は、どのようにして形成され、維持されたのでしょうか。 ○ 各節の学習課題 ・ 「ヨーロッパとの出会いによって、日本は、どのように変化していったのでしょうか。」 ・ 「長く続いた戦乱の世は、どのようにして終わっていったのでしょうか。」 ・ 「江戸幕府が長い間、支配を続けることができたのは、なぜでしょうか。」 ・ 「産業や交通の発達する中で、どのような文化が盛んになったのでしょうか。」 ・ 「江戸幕府は、なぜ、改革をせまられたのでしょうか。」 【資料】 ・ 年表 ・ 絵図（「江戸図屏風」） 【資料に係る学習活動】 ○ 「この絵から、どのようなことが分かるでしょうか？」 Q 1 「日本橋がかかる川の両岸では、どのような荷物があつかわれているのでしょうか。」 Q 2 「日本橋の右手には、大店といわれる大きな館が軒を連ねています。建物には、どのような特徴がありますか。」 Q 3 「どのような身分・職業の人たちがえがかれていますか。それは、どのようなところから分かりますか。」 Q 4 「このころの日本橋の町の区画は、どのようになっていたのでしょうか。」 Q 5 「日本橋の左側には、高札（立て札）がえがかれています。高札は、どのようなことに使われていたのでしょうか。」
学び舎	具体例（近世の日本） 【構成の概要】 2 ページを使い、年表、写真、絵図を示し、それぞれの歴史的事象が関連する位置を地図に示している。章の学習課題を示している。 ○ 章の学習課題 「海洋を行き来して、遠く離れた国と国がつながります。人びとの交流が新しい時代を開きます。地域と地域がつながって、新しい文化が育ちます。天下を統一した武将たち、力をつけた百姓・町人たちの姿を見ていきましょう。地域に残る歴史の跡や資料からも、当時の人びとの生活を見ることができます。近世の新しい動きを、さまざまな角度から考えてみましょう。」 【資料】

	・年表 ・地図 ・絵図（鉱山で働かされるアメリカ先住民、奴隷い船の内部のようす、イスタンブールの天文台、南蛮船から下ろされた荷物） ・写真（トマト・トウモロコシ・トウガラシ、コショウの実、石見銀）
令書	具体例（近世の日本） 【構成の概要】 2ページを使い、絵図及び歴史的事象を示した年表を示し、政治・外交・文化・産業の4つの視点で章の学習活動を示している。 ○ 章の学習課題 政治「江戸幕府はなぜ、長期安定の政権になったのでしょうか」 外交「江戸時代の外交は鎖国期から開国にかけてどのように変化していったのでしょうか」 文化「平和な江戸時代に生まれた豊かな文化はどんなものがあるのでしょうか」 産業「当時、世界有数の都市といわれた江戸の暮らしはどのように便利になっていったのでしょうか」 【資料】 ・絵図 ・年表

【社会（歴史的分野）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方 法	○「身近な地域の歴史」で示している記載の仕方及び調べる手順・方法

発行者	調査・研究内容
東書	○ 記載の仕方 ・「第1章 歴史へのとびら」に「2節 身近な地域の歴史」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「地域の歴史を調べよう」という特設ページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 1 テーマと問いを設定して調査・考察しよう 1 テーマと問いの設定 ・調べるテーマを見つけよう 2 調査 ・主な調査方法（図書室・図書館を利用する、インターネットを利用する、博物館・美術館を利用する、郷土資料館など地域の施設を利用する、遺跡や遺物を見学する、聞き取り調査・リモート取材をする） ・書籍で調べよう（歴史上の出来事を調べる、時代や年代から調べる、人物・地名を調べる、郷土史を調べる） ・インターネットで調べよう（役に立つウェブページ、利用上の注意） 3 考察 2 まとめと発表をしよう 4-1 まとめ - レポートやスライドの構成 ・レポートにまとめよう ・プレゼンテーションソフトでスライドにまとめよう 4-2 発表 5 ふり返り
教出	○ 記載の仕方 ・「第1章 歴史のとらえ方・調べ方」に「2節 身近な地域の歴史を調べよう」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「身近な地域の歴史を調べよう」という特設ページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 1 情報を集めて問いを立てよう ▶地域にはどのような歴史があるのかな ・小学生のときの学習を思い出そう ・調査全体の見通しを立てよう（1情報を集めて問いを立てよう、2実際の調査を進めよう、3整理して考察しよう、4調査の結果をまとめよう、5発表して振り返ろう） ・情報を集めよう ・学校図書館を活用しよう（調査に役立つ図書、図書の探し方） ・インターネットを活用しよう（インターネットの検索、利用するときの注意点）

	・「調査テーマ」を決めよう ・意見を共有して、アイデアをまとめよう 2 実際の調査を進めよう ▶調査テーマについてどのようなことがわかるかな ・メモを取ろう 3 整理して考察しよう ▶調べたことから何がわかったかな 4 調査の結果をまとめよう ▶どのように表現したら相手により伝わるかな 5 発表して振り返ろう ▶おたがいの発表から何を学び合えるかな
帝国	○ 記載の仕方 ・「第1章 歴史のとらえ方と調べ方」に「第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「歴史を探ろう」という特設ページを設け、身近な地域の調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 1 歴史の謎を探ろう ・町のなかの気になる場所に行ってみよう ・情報の集め方 (①図書館、②博物館・資料館、③インターネット) 2 資料をよく見てヒントを探そう ・博物館や資料館などに行ってみよう ・図書室などでヒントを探してみよう ・詳しい方に質問してみよう ・新たな発見をしにいこう ・野外・聞き取り調査のしかた ・年表のつくり方・地図のつくり方 3 謎解きの答えをまとめよう ・今との関わりを考えよう ・自分たちの考えを表現しよう ・クラスみんなに発表しよう ・レポートのまとめ方、発表のしかた
山川	○ 記載の仕方 ・「第1章 歴史との対話」に「2節 身近な地域を調べよう」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「地域からのアプローチ」というページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 1 テーマを設定しよう！ ・テーマを見つけるには 2 さあ調査だ！ ① 図書館を利用しよう ・図書館での文献調査 ② 荒川ふるさと文化館に行ってみた ・博物館の展示品と展示図録 ③ インターネットで昔の地図を見てみた ・ウェブページの信頼性 ・古い地図を入手するには

	④ 聞き取り調査をしよう ・聞き取り調査の注意点 ⑤ フィールドワークで道灌山周辺を実際に歩いてみた ・フィールドワークの注意点 3 レポートをつくって発表しよう！ ① レポートにまとめよう ・レポートの書き方 ・参考文献 ・引用と盗用 ② 発表しよう ・分かりやすい伝え方 ・スライドのつくり方
日文	○ 記載の仕方 ・「第1編 私たちと歴史」に「第2節 身近な地域の歴史の探究—大阪市内を例に—」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「でかけよう！地域調べ」という特設ページを設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ○ 調べる手順・方法 1 テーマを決めて調査の準備をしよう ・学習のはじめに ①地域調べをする理由を明確にするための視点 ・調査の全体像（テーマの決定、課題の調査、考察とまとめ） ①調査のテーマを決めよう ②テーマについて調べよう ・引用のしかた 2 課題を設定して、調査しよう ③調査の課題を設定しよう ④調査をしよう ・聞き取り調査のしかた 3 考察し、まとめたことを報告しよう ・プレゼンテーションソフトを活用した報告のしかた ⑤調査したことをまとめよう ②調査課題に対する考察の視点 ⑥調査したことを伝えよう ③報告・発表するときに示すこと ④発表を聞く時に意識すること ・活動をふり返ってみよう ⑤ふり返るときの視点
自由社	○ 記載の仕方 ・「序章 歴史のとらえ方」に「第3節 地域の歴史を調べる」を設け、調べ学習の具体例を4つ示している。 ・大単元の最後に「調べ学習のページ」を設定し、調べ学習の進め方やまとめの具体例等を示している。 ○ 調べる手順・方法

	・「地域の歴史を調べる」において、A～D班の4つの班に分かれて調査を行った内容をそれぞれがまとめた文章として掲載している。 A班 古墳を調査 B班 港を調査 C班 千利休の屋敷跡を調査 D班 堺事件を調査
育鵬社	○ 記載の仕方 ・序章に「④身近な地域の歴史の調べ方」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・序章及び第4章において、「地域の歴史を調べてみよう」という特設ページを設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ○ 調べる手順・方法 ①テーマを決める ②調査をする（(1) 事前調査、(2) 実地調査（調査活動を行う際に便利な道具）） ③分類・分析・整理をする ④発表する（まとめ）
学び舎	○ 記載の仕方 ・「歴史への案内」に「4 地域の博物館で調べる」を設け、地域の博物館での調べ学習や現地調査における学習のポイントを示している。 ○ 調べる手順・方法 ・「地域の博物館で調べる」 ・「地域の歴史について、上手に調べ、発表するために」 「①どこを歩き、何を見るのか、何を調べるのか、あらかじめチェックしておきましょう。」 「②地域の方、博物館の学芸員、説明員に積極的に質問してみましょう。」 「③わかったこと、さらに調べてみようと思うことなど、メモしておきましょう。」 「④写真も撮っておきましょう（ただし、写真は許可をえてから撮るようにしましょう）。」 「⑤調べたことを、レポートや地図にまとめ、グループやクラスで発表しましょう。」
令書	○ 記載の仕方 ・「序 国史を学ぶにあたって」に「三 グループで歴史を調べよう」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「第三章」「第四章」「第五章」において「field work」に具体的な課題を示している。 ○ 調べる手順・方法 イ テーマを決める ロ 疑問を持つ ハ 調べる ニ まとめる ホ 発表する ヘ 振り返る

【社会（歴史的分野）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧単元や資料等の配列・分量
方 法	○各時代区分別のページ数

発行者	調査・研究内容	
東書	歴史との対話	14
	古 代	42
	中 世	34
	近 世	46
	近 代	100
	現 代	32
教出	歴史との対話	17
	古 代	40
	中 世	36
	近 世	48
	近 代	108
	現 代	36
帝国	歴史との対話	12
	古 代	48
	中 世	42
	近 世	56
	近 代	114
	現 代	32
山川	歴史との対話	9
	古 代	48
	中 世	40
	近 世	52
	近 代	100
	現 代	30
日文	歴史との対話	12
	古 代	46
	中 世	40
	近 世	50
	近 代	104
	現 代	34
自由社	歴史との対話	12
	古 代	50
	中 世	36
	近 世	44
	近 代	106
	現 代	33
育鵬社	歴史との対話	14
	古 代	40

	中 世	3 2
	近 世	5 0
	近 代	9 8
	現 代	3 6
学び舎	歴史との対話	8
	古 代	4 4
	中 世	3 2
	近 世	5 0
	近 代	1 1 0
	現 代	3 6
令書	歴史との対話	1 3
	古 代	1 0 2
	中 世	6 4
	近 世	8 6
	近 代	1 4 2
	現 代	4 9

【社会（歴史的分野）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑨主権者育成のための工夫
方 法	○古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がりについての記載内容

発行者	調査・研究内容
東書	【古代】「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「アクロポリスとパルテノン神殿」「古代ローマの支配領域」等の資料を掲載している。 【近代】「イギリスとアメリカの革命」「フランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載している。 【現代】「民主化と日本国憲法」というタイトルで2ページを使って記載し、「日本国憲法前文」「初の男女普通選挙」等の資料を掲載している。
教出	【古代】「すべての道はローマに通ず」というタイトルで2ページを使って記載し、「アテネのパルテノン神殿」「古代ローマの領域」等の資料を掲載している。 【近代】「王は君臨すれども統治せず」「代表なくして課税なし」というタイトルで4ページを使って記載し、「権利の章典」「人権宣言」等の資料を掲載している。 【現代】「敗戦からの再出発」「平和国家をめぐって」というタイトルで4ページを使って記載し、「女性の国会議員の誕生」「日本国憲法の前文」等の資料を掲載している。
帝国	【古代】「ギリシャとローマの政治と文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「パルテノン神殿」「東西の大国と交易のつながり」等の資料を掲載している。 【近代】「市民革命の始まり」「人権思想からフランス革命へ」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言の採択」「人権宣言」等の資料を掲載している。 【現代】「新時代に求められた憲法」というタイトルで2ページを使って記載し、「あたらしい憲法のはなし」「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。
山川	【古代】「地中海文明の発展」というタイトルで2ページを使って記載し、「アクロポリスに建つパルテノン神殿」「円形闘技場」等の資料を掲載している。 【近代】「市民革命の時代」というタイトルで4ページを使って記載し、「独立宣言」「バスティーユ襲撃」等の資料を掲載している。 【現代】「占領下の日本」「日本国憲法と民主化」というタイトルで4ページを使って記載し、「女性の衆議院議員」「日本国憲法」等の資料を掲載している。
日文	【古代】「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「パルテノン神殿」「ローマ帝国の支配圏」等の資料を掲載している。 【近代】「王政から議会制へ」「アメリカの独立とフランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「権利の章典」「人権宣言」等の資料を掲載している。 【現代】「占領と改革の始まり」「平和で民主的な国家をめざして」というタイトルで4ページを使って記載し、「日本国憲法公布の祝賀会」「投票する女性有権者」等の資料を掲載している。
自由社	【古代】「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「古代アテネ復元図」「大西洋から黒海沿岸を支配したローマ帝国」等の資料を掲載している。 【近代】「イギリスの市民革命とアメリカの独立」「啓蒙思想とフランス革命」という

	タイトルで4ページを使って記載し、「権利章典」「人権宣言」等の資料を掲載している。 【現代】「占領下の日本」というタイトルで2ページを使って記載し、「日本最初の婦人代議士」「占領軍の進めた戦後の主な改革」等の資料を掲載している。
育鵬社	【古代】「ギリシャとローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「パルテノン神殿」「コロッセオ」等の資料を掲載している。 【近代】「イギリスの革命とアメリカ独立」「フランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載している。 【現代】「民主化と日本国憲法制定」というタイトルで2ページを使って記載し、「初めての女性国会議員」「英文で書かれた日本国憲法の草案」等の資料を掲載している。
学び舎	【古代】「円形競技場の熱狂」というタイトルで2ページを使って記載し、「紀元前5世紀ごろのギリシアとペルシア」「ローマ帝国の広がり」等の資料を掲載している。 【近代】「アメリカの大地に生きる」「バスチーユを攻撃せよ」というタイトルで4ページを使って記載し、「ボストン港でのイギリスへの抗議行動」「ベルサイユ宮殿へ向かう民衆」等の資料を掲載している。 【現代】「焼け跡からの出発」「もう戦争はしない」というタイトルで4ページを使って記載し、「街頭演説をする山口シヅエ」「あたらしい憲法のはなし」等の資料を掲載している。
令書	【古代】「ギリシャ・ローマの文化」というタイトルで3ページを使って記載し、「アレクサンドロス大王」「フォロ・ロマーノ」の資料を掲載している。 【近代】「イギリス革命とアメリカ独立戦争」「啓蒙思想とフランス革命」というタイトルで8ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載している。 【現代】「大日本帝国憲法の改正」というタイトルで5ページを使って記載し、「日本国憲法原本上論」等の資料を掲載している。

【社会（歴史的分野）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方 法	○資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数

発行者	調査・研究内容
東書	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真125、絵図84、地図32、図表・グラフ26、文書資料47、年表3、人物57、二次元コード49。
教出	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真109、絵図80、地図28、図表・グラフ32、文書資料22、年表3、人物55、二次元コード6。
帝国	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真129、絵図73、地図37、図表・グラフ39、文書資料2、年表4、人物62、二次元コード20。
山川	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真124、絵図66、地図31、図表・グラフ37、文書資料19、年表0、人物47、二次元コード11。
日文	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真116、絵図69、地図32、図表・グラフ38、文書資料34、年表31、人物61、二次元コード60。
自由社	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真64、絵図58、地図24、図表・グラフ16、文書資料65、年表6、人物41、二次元コード0。
育鵬社	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真78、絵図68、地図33、図表・グラフ36、文書資料20、年表3、人物77、二次元コード2。
学び舎	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真136、絵図58、地図32、図表・グラフ20、文書資料1、年表0、人物39、二次元コード0。
令書	【近代の日本と世界】 ○ 掲載数は、写真30、絵図20、地図4、図表・グラフ8、文書資料29、年表3、人物27、二次元コード0。

【社会（歴史的分野）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方 法	○ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

発行者	調査・研究内容
東書	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 レイアウト等 ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしている。 ○ ページ偶の色分け、見開き右側の年表及び下部の記載で、学習内容を示している。
教出	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 レイアウト等 ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしている。 ○ ページ偶の色分け及び下部の記載で学習内容を示している。
帝国	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフの周囲と周りを違う色にしている。 レイアウト等 ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ偶の色分け及び見開き右側の年表で学習内容を示している。
山川	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 レイアウト等 ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ偶の色分け及び下部の記載で学習内容を示している。
日文	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取

	りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 レイアウト等 ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ偶の色分け及び見開き右側の年表で学習内容を示している。
自由社	フォント・グラフ ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 レイアウト等 ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ偶の色分け、見開き左下部の年表及び下部の記載で学習内容を示している。
育鵬社	フォント・グラフ ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 レイアウト等 ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ偶の色分け及び見開き左下部の年表で学習内容を示している。
学び舎	フォント・グラフ ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 レイアウト等 ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ偶の色分けで学習内容を示している。
令書	フォント・グラフ ○ 本文は縦書きで示し、脚注は横書きで示している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに濃淡を変え、実線で示している。 レイアウト等 ○ ページ下部の記載で学習内容を示している。

令和6年7月25日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 社会(公民的分野)

代表者 呉市立中ノ丸中 学校

氏名 伊田 康司

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【社会（公民的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①学習課題の示し方
方 法	○1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例

発行者	調査・研究内容
東書	【1時間ごとの学習課題の記載の仕方】 ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治の考え方と役割」「地方自治の仕組み」「地方公共団体の課題」「住民参加の拡大と私たち」とし、タイトルの上に「国と地域の、役割分担」「住む人の意思を、どう生かす?」「地域を守る・暮らしを守る」「今すぐ、できることもある」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 【記載例】 「地方自治と私たち」 ○ 「地方自治はどのような考えに基づいて行われているのでしょうか。」 ○ 「地方自治はどのような仕組みで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体には、どのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「住民の声を生かした政治を実現するために、どのような取り組みがなされているのでしょうか。」
教出	【1時間ごとの学習課題の記載の仕方】 ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治ってなんだろう」「暮らしを支える地域の行政サービス」「地域の暮らしを支えるために」「変わりゆく地域社会」とし、タイトルの下に「身近な地域の政治」「地方自治体のしくみと仕事」「地方財政の現状と課題」「住民参加とこれからの地方自治」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」「どのように」「何をすることが」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 【記載例】 「地方自治と住民の参加」 ○ 「身近な地域の政治は、どのようなしくみで行われるのでしょうか。」 ○ 「地方自治体はどのように仕事を行っているのでしょうか。」 ○ 「国や地方自治体は、地方財政にどのように取り組んでいるのでしょうか。」 ○ 「地域社会が抱える課題に対し、私たちは何をすることができのでしょうか。」
帝国	【1時間ごとの学習課題の記載の仕方】 ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと住民参加」「地方財政の現状と課題」「私たちと政治参加」と示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 【記載例】 「地方自治と私たち」 ○ 「国の政治と比べて、地方の政治にはどのような特徴があるのだろうか。」 ○ 「私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか。」 ○ 「地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があ

	るのだろうか。」 ○ 「私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。」
日文	【1時間ごとの学習課題の記載の仕方】 ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの暮らしと地方自治」「地方自治のしくみ」「地方自治の現状と今後の課題」「地方自治と私たち」と示している。 ○ タイトルの下に学習課題として「どのような」「どのように」「なぜ」「～とは何でしょうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 【記載例】 「暮らしを支える地方自治」 ○ 「地方自治とはどのようなものでしょうか。なぜ必要とされるのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体とは何でしょうか。それはどのようなしくみでしょうか。」 ○ 「地方公共団体と国にはどのような関係があり、地方自治の今後にはどのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「地方自治を実現するために、私たちはどのように住民参加していけばよいのでしょうか。」
自由社	【1時間ごとの学習課題の記載の仕方】 ○ 見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」と示している。 ○ タイトルの下に学習課題として「～とは何だろうか」「どうして」「どう～だろうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 【記載例】 「地方公共団体の仕組みと課題」 ○ 「地方自治の意義とは何だろうか。国家レベルの行政や立法だけでは、どうして不十分なのだろうか。」 ○ 「地方自治体の財源は、どう確保されているだろうか。地方と国との関係は、どう変わってきただろうか。」
育鵬社	【1時間ごとの学習課題の記載の仕方】 ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」と示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 【記載例】 「地方自治と住民」 ○ 「地方自治はどのようなしくみで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方の政治はどのようなしくみで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方自治において住民の声を生かすために、どのようなしくみがあるのでしょうか。」

【社会（公民的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
方 法	○現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例

発行者	調査・研究内容
東書	【現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例】 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い） ○ 部活動を例に、「1年前の学校でのトラブルについて考えよう」「現在の学校でのトラブルについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「解決のための話し合い」の次に、「決まりの作成」「決まりの見直し」「見直した決まりの評価」について、絵図で示している。 ○ 「見直した決まりの評価」では、「決まりの評価表」を表で示している。 ○ 「いちごを効率的に配分するには」という課題を、絵図で示している。 ○ 「日本国憲法に定められた家族」「旧民法と新民法の比較」「社会集団の例」「物事を決定する方法」「採決の方法」「契約書の例」「Win-Win」「対立と合意、効率と公正」を絵図等で示している。
教出	【現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例】 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い） ○ 合唱コンクールの練習を例に、「ルールについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ ごみ収集所の新たな設置を例に、「ルールをつくってみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「ある家族のスマートフォンの使用をめぐるルール」「社会集団の広がり」と主なルール」「受け継がれる京都の景観」「話し合いと決定の主な方法」「効率と公正をふまえた対立から合意へのプロセス」「じゃんけんは公平か」を絵図等で示している。 ○ 「考えたルールを評価しよう」では、「評価カード」を表で示している。
帝国	【現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例】 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い） ○ 「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」を例に、「状況を確認する」「設置場所を話し合う」という課題を、絵図で示している。 ○ 「防災備蓄倉庫の運用規則は変えられる？」という課題を、絵図で示している。 ○ 「社会集団の例」「家族の役割」「家事分担での「win-winの関係」の例」「本書で扱う「意見が対立するテーマ」の例」「対立からよりよい合意へ」「合意を検討する観点の例」を絵図等で示している。 ○ 「効率と公正から考えよう」では、「コンビニエンスストアのレジの例」「テーマパークのアトラクションの例」の2つを絵図で示している。 ○ 「決定を行う方法を考えよう」では、「決定を行う方法の例」を4つの絵図で示している。
日文	【現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例】 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い） ○ 「アクティビティ」で、「きまりについて考えよう」「合意する方法を考えよう」「効率と公正の考え方」「きまりの変更について評価してみよう」という課題を、絵図で示している。

	○ 「合唱コンクールの練習スケジュールを考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「社会集団のきまりや役割の例」「さまざまな場面でのきまり」「家族構成の変化」「慣習・道徳・法」「家族にかかわる民法の変化」「さまざまな対立の例」「国会での話し合いのようす」「近江商人の「三方よし」」「対立と合意、効率と公正の関係」「ケーキの分け方における効率と公正」「外国人向けの広報誌」「ウェブサービスの利用規約」を絵図等で示している。
自由社	【現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例】 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い） ○ 部活動を例に、文章で「体育館使用問題①－対立」「体育館使用問題②－合意形成と目的に関する考察」「体育館使用問題③－合意形成後の対立」「体育館使用問題④－決まりをつくる」の順で表や文章で示している。 ○ 「やってみよう」として、「自分たちの学校で、体育館使用問題以外に決まりを決めた方がよい問題があるか、話し合ってみよう。もしあれば、体育館使用問題にならって、いろいろ話し合ったり、行動したりしてみよう。」という課題を、文章で示している。 ○ 「代表的な利益社会の例」として、「企業の研修会」「趣味で集まったクラブ」の写真を示している。
育鵬社	【現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例】 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い） ○ 「部活動の平日のグラウンド割りを考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「「効率」「公正」の観点から適切？話し合ってみましょう。」「合意の仕方について考えてみましょう。」「ルールの見直しについて評価しましょう。」について、絵図で示している。 ○ 「祭りで神輿を担ぐ中学生」「つながりの強さを感じる時」「家庭の役割」「親等図」「三世代世帯と核家族世帯」「家族構成の変化」「共働き世帯数の推移」「保育施設への苦情」「隣近所との上手なつきあい方はどれだと思うか」に対する考え」「地域共生社会の実現へ向けての取り組み」「ケーキの分け方」「win-winの例」「対立を合意に導く考え方」「雇用契約書（例）」「ルールの評価法」「ルール（きまり）の具体例」「競技規則が変更された例（サッカー）」を絵図等で示している。

【社会（公民的分野）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
方 法	○国旗・国歌に関する記載の仕方及び領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

発行者	調査・研究内容
東書	国旗・国歌に関する記載の仕方 【本文関係】 ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家は、国を象徴する国旗や国歌などを定めています。国旗や国歌などにはその国の歴史や文化が反映されています。日本は、1999（平成11）年に「国旗及び国歌に関する法律」を制定し、日章旗を国旗、「君が代」を国歌と決めました。国どうしの関係ではお互いが主権国家であることを尊重し、他の国の国旗や国歌などを大切にしなければなりません。」 ○ 写真「独立を喜ぶ南スーダンの人々」「国際連合本部の前に並ぶ加盟国の国旗」 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 【本文に係る資料】 ○ 写真「沖ノ鳥島と、護岸が造られた北小島」 ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 【コラム】 ○ タイトル「竹島問題の経緯と取り組み」「北方領土問題の経緯と取り組み」「尖閣諸島への対応」 ○ 写真「竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「樺太の真岡から函館への引きあげ」「尖閣諸島の島々」「中国の船と並走する海上保安庁の巡視船」 ○ 地図「李承晩ライン」「北方四島の位置」「沖縄返還協定でアメリカから日本に返還された範囲」 ○ 新聞「李承晩ラインについて報じる島根県の新聞」
教出	国旗・国歌に関する記載の仕方 【本文関係】 ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「世界のどの国にも、国旗と国歌があります。国旗や国歌はその国を表す象徴（シンボル）で、国家と国民はそれらに対しお互いに敬意を払って尊重し合うことが、今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年、「日章旗（日の丸）」を国旗、「君が代」を国歌とするのがならわしでしたが、1999年にそのことが法律で定められました。植民地などがついに独立を果たして主権国家となり、独自の国旗を掲げることは、自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には、それぞれの国の歴史や国民の思いがこめられています。」 ○ 写真「東京2020パラリンピックの表彰式で掲げられた国旗」「国歌を斉唱するサッカー日本代表」 ○ 絵図「南アフリカ共和国の国旗の変化」 ○ 側注「1999年の国会において、当時の首相は「君が代には、日本の繁栄と平

	和への願いがこめられている」という考え方を示しました。」 【コラム】 ○ タイトル「国旗と国歌の歴史」 ○ 絵図「咸臨丸」 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 【本文に係る資料】 ○ 写真「「北方領土の日」の住民大会」「北方領土返還を求める看板」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 地図「北方領土」「日本の国土とその周辺」 【コラム】 ○ タイトル「なぜ、外交の役割は重要なのだろう」の一部 ○ 写真「尖閣諸島周辺の海を警備する、海上保安庁の巡視船」「折り紙などが行われた、択捉島での文化交流会」
帝国	国旗・国歌に関する記載の仕方 【本文関係】 ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「国旗と国歌は、それぞれの国のシンボルです。世界の国々が自分たちの国の歴史を背景に国旗や国歌を定めています。日本では、1999年の国旗・国歌法によって、「日章旗」（日の丸）が国旗で、「君が代」が国歌であると定められています。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗が掲げられ、国歌が演奏されています。国際社会では、国旗や国歌を相互に尊重することは大切で、現代社会の重要な儀礼となっています。」 ○ 写真「拉致被害者の帰国」 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 【本文に係る資料】 ○ 写真「尖閣諸島沖を航行する海上保安庁の船と中国船」 ○ 地図「尖閣諸島の位置」「日本の排他的経済水域」「北方領土の歩み」「竹島の位置」 ○ 側注「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」
日文	国旗・国歌に関する記載の仕方 【本文関係】 ○ タイトル「国家と国家主権」 ○ 本文「(前略) すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会の大切な原則です。また、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重し合うことが、国際的な儀礼です。日本では、法律で「日章旗」を国旗、「君が代」を国歌としています。」 ○ 写真「2020東京オリンピックの表彰式」「G20大阪サミットに出席する各国首脳」 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 【本文に係る資料】 ○ 写真「護岸工事前と護岸工事後の沖ノ鳥島」「西之島」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 絵図「北方領土周辺」

	○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 【コラム】 ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」の一部 ○ 写真「元島民らによる洋上慰霊」「竹島の日」式典」「尖閣諸島付近で海上保安庁の巡視船にはさまれた中国政府の船」
自由社	国旗・国歌に関する記載の仕方 【本文関係】 ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国家の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。オリンピックやワールドカップでも、各国の国旗が掲揚され、国歌が演奏されています。」 ○ 写真「リオデジャネイロオリンピック開会式」 ○ 脚注「ここがポイント！③国際社会では相互に国旗・国歌への敬意が求められている。」 【コラム】 ○ タイトル「国旗と国歌を考えてみよう」 ○ 写真「アメリカ市民権獲得宣誓式の模様」「日の丸を手に、日本の伝統文化をすすめるイベントに参加する和服姿の女性たち」 ○ タイトル「『日章旗』の意味」「『君が代』の意味」「国旗掲揚の国際儀礼」 ○ タイトル「どこの国の国歌だろう？」 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 【本文に係る資料】 ○ 地図「わが国の領域」 ○ 写真「沖ノ鳥島」「南鳥島」 【コラム】 ○ タイトル「わが国の領土問題」 ○ 地図「1855年の日露通好条約で決められた国境」「李承晩ライン」 ○ 年表「北方領土問題の主な歴史」 ○ 写真「銃撃された日本の海上保安庁の巡視船」

育鵬社	国旗・国歌に関する記載の仕方 【本文関係】 ○ タイトル「国旗・国歌」 ○ 本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999（平成11）年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」 ○ 資料「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」 ○ 写真「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」 【コラム】 ○ タイトル「国歌「君が代」の意味」 ○ 資料「各国の国歌の大意」（アメリカ、中国、フランス、イギリス）「世界の国旗のデザイン」 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 【本文に係る資料】 ○ 写真「尖閣諸島の魚釣島付近の領海に侵入した中国船を追走する海上保安庁の巡視船」 ○ 地図「日本の排他的経済水域と延長大陸棚」 ○ 絵図・写真・解説「日本の主権範囲」の中に「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」「日本の最南端、沖ノ鳥島と護岸工事がほどこされた沖ノ鳥島の北小島」 【コラム】 ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題」 ○ 地図「北方領土」「韓国側が主張する李承晩ライン」 ○ 写真「択捉島の街並み」「尖閣諸島」「竹島」 ○ 新聞「竹島は日本領」 ○ グラフ「尖閣領海内への中国公船の月別侵入隻数（延べ数）」
-----	--

【社会（公民的分野）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	④見方・考え方を働かせるための工夫
方 法	○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例

発行者	調査・研究内容
東書	【課題】 持続可能な社会の実現に向けて、私たちには何ができるのでしょうか。 【資料】 絵図 「社会的な見方・考え方を働かせて身に付けた資質能力」 表 「人間と自然環境との相互依存関係」「持続可能性」「推移に関わる視点（継続）」「対立と合意」「希少性」「持続可能性」 【本文】 「これまでの社会科の学習を思い起こし、「効率と公正」といった社会的な見方・考え方を活用することも大切です。」
教出	【課題】 私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう 【資料】 イメージ図 「作品の作成～振り返りのイメージ図」 文書資料 「四つの視点とは」 【本文】 〔表現方法の選択〕 『私の提案』は、物事を空間的にとらえる「地理」の見方や考え方、物事の時間的な流れに着目する「歴史」の見方や考え方、さまざまな視点から現代社会をとらえる「公民」の見方や考え方など、これまでの社会科での学びを総動員して作成する。」「自分にとっての持続可能な未来とは」 『私の提案』のまとめとして、「持続可能な未来のために大切にすべき見方や考え方とは何か」、「自分にとっての持続可能な未来とは何か」という「考え続ける問い」に対し、自分なりの答えを考えてみよう。」
帝国	【課題】 持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題について考察、構想し、自分の考えを論述します。 【資料】 吹き出し 「「民主主義」の観点で考えてみたい。」「「効率と公正」の観点で考えてみるよ。」 絵図 「「個人の尊重」に着目」「空間的な広がり」や「推移」に着目」「「持続可能性」に着目」「希少性」や「協調」に着目」「人口に応じた調整だけでいい？」「増加する医療費にどう対応するのか？」「高福祉には高負担が必要」「日本の難民受け入れ数は少ない」「これまでの考察をもとに、レポートを書いてみよう。」 文書資料 「一票の格差とは？」 【本文】 「あるテーマについて、さまざまな立場から意見を出し合うことで、より効率的で公正な解決策が見つかります。」

日文	【課題】 これからの社会をどんな社会にしたい？ 【資料】 「まどかさんの考察」 考察内にある「位置」に関する文章、グラフによる「比較」、 「効率と公正」に関する「効率と公正の観点から」と題する文章 表 「どの程度の効果があらわれているかを表す統計資料はあるだろうか。」 「自分の提案は、実現が可能なものになっているだろうか。」 「自分の提案は、効果があるものになっているだろうか。」 【本文】 「これまで地理・歴史・公民の授業で身につけてきた知識や、見方・考え方を使うことで、課題についてさまざまな面から考察することができるようになります。」
自由社	【課題】 ディベートをやってみよう 【資料】 文書資料「論題の例」 ・政治の仕組みに関して ・安全保障の方針に関して ・環境問題への対応に関して 【本文】 「社会のなかでさまざまな生じる対立から合意を形成していくためには、無駄のないように効率も配慮して、公正に議論する必要がある。」
育鵬社	【課題】 これから社会に加わる私たちが、持続可能な社会（将来の世代が必要とするものを満たしつつ、現在の私たちの世代をも満足させる社会）を築いていくという観点からよりよい社会をつくっていくためにはどうすればよいのでしょうか。 【資料】 絵図 テーマを決める～ウェビングマップの作成 表 テーマ例「社会」「政治・経済」「国際」「環境・食料」 【本文】 「地理」では日本と世界の地理的な特色やそれぞれの関係について、「歴史」では世界の歴史を背景に日本の歴史の大きな流れについて学びました。そして「公民」では、現代の日本社会の特色や、現代社会をとらえる見方や考え方を学習しました。地理・歴史・公民で身に付けた視点や方法を働かせて、レポートに書いたり、プレゼンテーションをしたりして表現する活動をします。

【社会（公民的分野）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	⑤学習のまとめの工夫
方 法	○単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例

発行者	調査・研究内容
東書	○ 「私たちの暮らしと経済」の単元末において、2ページを使い、「コンビニエンスストアの新たなサービスを企画しよう」という学習課題を設定している。学習活動として、「導入の活動では、長く続けられるコンビニエンスストアについて、場所の面（立地条件）から中心に考えました。導入の活動で作成したマトリックスを参考に、改めてA市、B市、C市からあなたが出店したいと思う1か所を選んで、（1）～（4）について考えましょう。」と示している。 （1） 長く続けられるお店、持続可能なお店とはどのようなお店なのでしょう。これまで学習した以下のポイントを参考にして、改めて経営者（店舗）、労働者、消費者の視点で整理し直しましょう。その際、Yチャートを使うと、上記3点の視点で整理しやすくなります。 （2） この地域に必要なお店としてさらに発展していくために、さらなるサービスの拡充を図ろうとしています。どのようなサービスを優先的に行っていくべきか、次の1～6の項目を参考にして、一つ選びその理由を考えましょう。 （3） グループの中でサービスの優先順位を発表し合いましょう。そして実現可能かどうか、効率・公正、希少性、持続可能性の観点で問題はないかなど、意見を交換しましょう。 （4） グループでの発表、話し合いを受けて、改めてどのサービスを優先的にやっていくのか、理由と合わせて考えましょう。 ○ 第4章の探究課題を解決しよう 探究課題「豊かな社会を築くために、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」
教出	○ 「私たちの暮らしと経済」の単元末において、3ページを使い、「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」と学習課題を設定している。学習活動として、STEP!①②を示している。 ・STEP!①「第4章の学習のはじめに」（P.130～131）を振り返ろう 以下の問いに答えながら、第4章の学習を行う前の自分の意見と比べてみよう。 ①P.130の「給食作り」における分業の長所を考え、思いつく限りあげてみよう。 ②「給食作り」における分業に短所があるかどうか、考えてみよう。 ③P.131のQ6で自分があげた「分業と交換」の例について、「効率と公正」の視点からとらえ直してみよう。 ④P.130の事例で、もっと多くの給食を作るためには、どのような工夫が考えられるだろうか。 ・STEP!②「第4章の問い」について考えよう 第4章「私たちの暮らしと経済」の問い 私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。 〔1〕企業の経済活動がない場合、社会はどうなってしまうだろうか。以下の「見方・考え方」を参考に、具体例をあげながら考えてみよう。〔見方・考え方：

	分業と交換] 〔2〕家計における「消費者」や、企業における「労働者」など、経済活動になう一員として今後の日本経済を考えたときに、どのようなことが大切だと思うか、第4章の「見方・考え方」を参考に自分の意見をまとめよう。 〔見方・考え方：対立と合意 効率と公正 分業と交換〕 〔3〕〔2〕で考えた自分の意見をグループで発表し合い、意見や考えをマインドマップにまとめてみよう。 〔4〕第4章のテーマ「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」について、〔3〕も活用しながら自分の意見をまとめよう。
帝国	○ 「経済活動と私たち」の単元末において、1ページを使い、「各節の学習や「学習の前に」を振り返り、章の問いをまとめよう」という学習課題を設定している。学習活動として、「①「学習の前に」を振り返ろう。」「②節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。」と示している。 ①「学習の前に」を振り返ろう。 (1) P.116～117のイラストを振り返り、人と人との間で交換が行われている場面を探し、右の表の①、②にまとめてみよう。 (2) (1)で見つけた場面は、経済活動においてどのような役割を果たしているのか、家計、企業、政府の関係性に着目して右の表の③にまとめよう。 (3) (2)で作成した表を周りの人と持ち寄って、意見交換をしてみよう。 ②節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。 1章の問い 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。 ステップ1 (1) 下線部 (A) (B) に当てはまる語句を漢字2字で考えよう。 ステップ2 (1) クラゲチャートを用いて、下線部 (C) のアイデアを出そう。 (2) (1)について、周りの人と意見交換をしながら、下線部 (C) をまとめよう。
日文	○ 「国民の生活と政府のはたらき」の単元末において、2ページを使い、「章のまとめをしよう」と学習活動を示している。学習課題として、「ニュースを見方・考え方から見てみよう」「章の問いに答えよう」と示している。 ニュースを見方・考え方から見てみよう ①失業した人は雇用保険によってお金を受け取ることができます。雇用保険は社会保障の四つの柱のうち、どれに含まれるでしょうか。 ②失業者が増えているとき、景気はどのように変化していくと考えられますか。 ③失業した人を社会全体で支えるべき理由を、効率と公正の見方・考え方を使って説明してみましょう。 ○ 章の問いに答えよう ①これまで学習してきたことをもとに、章の問いをまとめましょう。 マトリックス (表) を使って考えてみよう (財政の3つの役割に基づいて学習内容を整理してみよう。) ②自分の考えがまとまったら、グループになって意見交換をしてみましょう。その後、みんなの意見を参考に、新たに気づいたことや足りなかった部分をふまえて、

	考えをまとめましょう。
自由社	○ 「国民生活と経済」の単元末において、1ページを使い、学習活動として「学習のまとめと発展」を示している。「学習の発展」として、「第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つを選んで、約400字でまとめてみよう。」と学習課題を示している。 ①江戸時代の家庭にはなくて、現代ではどこの家庭にもある家庭用品を10ほどあげ、それらがなければ、生活がどのように変わるか考えてみよう。 ②新しく開発された商品は経済生活を豊かにすると同時に、社会に悪い影響をあたえることがある。そのときは規制が必要となる。そのことを、携帯電話を例にして考えてみよう。 ③市場経済では、商品売るために莫大な宣伝費をかけるのに対して、計画経済では宣伝費はあまりかけない。宣伝費の得失について、考えてみよう。 ④高齢者が増え、働いている若い世代が少なくなる高齢社会の中で、年齢制度に問題が生じることを確かめ、その解決法にはどんなものがあるか、いろいろ考えてみよう。 ⑤わが国は循環型社会をさらに進めるために、どのようにしていかなければならないか、考えてみよう。
育鵬社	○ 「私たちの生活と経済」の単元末において、2ページを使い、学習活動として「経済のこれから」とし、「第4章で学んだ内容を振り返りながら、企業の社会的責任(CSR)について考え、これからの社会に求められる企業とはどのような企業か、ポスターツアーを行ってみましょう。」と学習課題を示している。 1 コンビニエンスストアに共通の課題としてどのようなものがあるか、調べてみました。 2 そこで「経済の入り口」でインタビューした、コンビニエンスストアを営むA～C社のそれぞれの会社では、社会に求められる会社をめざして、「行動計画2030」を作成しようということになりました。「経済の入り口」での活動の時に作ったA・B・C社の班に分かれ、社員になったつもりでSDGsの最終年に合わせた「行動計画2030」(Plan)を、次の①～⑤にしたがって話し合い、作成してみよう。 ①「2030年には、こういう会社になっている」というゴールを具体的に示しましょう。 ②社会に求められる会社をめざすために取り組まなくてはならない課題を、右の4つのテーマにしたがってあげてみましょう(1 イノベーション/2 環境/3 社員と働き方(人権)/4 経営の健全化(ガバナンス))。 ③②であげた課題の解決のために実行すること(Do)を考え、具体的に提案してみよう。 ④③で提案した内容を、「社会課題の解決や、会社と社会が共有する価値の創造に結びつくものになっているか」という視点で、評価(Check)してみよう。 ⑤④の評価を受けて改善(Act)し、グループの「行動計画2030」をポスターにまとめ、ポスターツアーを行いましょう。

【社会（公民的分野）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥単元の導入における工夫
方 法	○各単元の導入における学習の見通しをもたせる手立て及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	【各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て】 ○ 大単元の導入において、1 ページに3 枚の写真を掲載しており、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どのような」「どのように」の問いを示している。 ○ 導入の活動として「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」という課題を、絵図、表で示し、キャラクターの吹き出しで情報を示している。 ○ 「探求課題」では、キャラクターの吹き出しで「～整理しましょう」「どのように」という問いを、「探求のステップ」では各節の問いを示している。 【具体例】（私たちと経済） 第4章「私たちの暮らしと経済」 探究課題「豊かな社会を築くために、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」 「探求のステップ」 ○ 1 節「消費活動では、なぜ消費者の自立が求められているのでしょうか。」 ○ 2 節「生産活動では、なぜ労働者の権利を保障することが重要なのでしょうか。」 ○ 3 節「市場と金融の働きは、なぜ私たちの生活にとって重要なのでしょうか。」 ○ 4 節「国民の福祉にとって、なぜ財政が重要なのでしょうか。」 ○ 5 節「これからの経済と社会のために、私たちに何ができるのでしょうか。」
教出	【各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て】 ○ 大単元の導入において、1 ページに4 枚の写真を掲載している。それぞれの写真の横や下に、写真の説明文と内容に関する項目とページ数を示している。 ○ 導入の活動として、「よりたくさんの給食を作るためには」という課題を、漫画で示している。 ○ 学習の見通しとして、各節のテーマと問いを示している。また、章全体の問いを示している。 【具体例】（私たちと経済） 第4章「私たちの暮らしと経済」 「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」 ○ 1 節「私たちの消費生活は、経済活動とどのようにつながっているのだろうか。」 ○ 2 節「生産活動をにやう企業にはどのような役割と責任があり、働く人たちはどのように関わっているのだろうか。」 ○ 3 節「市場経済は、どのようなしくみと機能をもつのだろうか」 ○ 4 節「金融や財政のしくみは、私たちの暮らしにとってどのような役割があるのだろうか。」
帝国	【各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て】 ○ 大単元の導入において、1 ページに3 枚の写真を掲載している。 ○ 導入の活動として見開き2 ページに「学習の前に」として、「暮らしのなかから経済を探してみよう」を設け、イラストや問いを示している。また、各場面には関連する本文のページ数を示している。

	○ キャラクターの吹き出しで、「～していきましょう」と第3部で何を学習するのかを示している。 【具体例】(私たちと経済) 第3部「経済」 「私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。」 ○ 「はるの市」の「若木地区」の商店街の様子です。たくさんの人たちが買い物をしたり、働いたりしています。イラストを見ながら、経済が私たちの暮らしとどのように関わっているか、考えてみましょう。次の場面は、イラストの□ア～□カのどれに当たるか、() に記号を入れてみよう。 ①購入する商品の代金を支払っている ②店長から給与を受けとっている ③スマートフォンの契約内容を確認している ④市の作業員がごみを収集している ⑤ATM(現金自動預け払い機)を利用している ⑥パン用の小麦を受け取っている
日文	【各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て】 ○ 大単元の導入において、見開き2ページに「学習のはじめに」として、「ハンバーガーショップから見る経済のしくみ」を設け、漫画で示している。 ○ 漫画についてイラストに吹き出しを加えながら示し、「関係があるのかな」「どういう意味だろう」の問いを2つ示している。 ○ 「第3編第1章の問い」では、第3編で何を学習するのかを示している。 【具体例】(私たちと経済) 第3編「私たちの生活と経済」 「私たちの生活を支える経済活動は、どのようなしくみで成り立っているのでしょうか。」 ○ 「労働基準法ってどんなことが書いてあるんだろう。」 ○ 「円安の影響で値上げってどういう意味だろう。」 ○ 1節「市場経済において、消費生活はどのような意味で大切なのでしょうか。」 ○ 2節「市場経済において、企業にはどのような役割と責任があるのでしょうか。」 ○ 3節「金融のしくみは、私たちの生活とどのように関わっているのでしょうか。」
自由社	【各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て】 ○ 大単元の導入において、1ページにイラストを掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。 【具体例】(私たちと経済) 第4章「国民生活と経済」 ○ 「私たちの豊かな生活を支える経済の仕組みは、どうなっているのだろうか。」 ○ 「幸せな経済生活とは、いったいどのようなものなのだろうか。」
育鵬社	【各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て】 ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載しており、写真の横や下に説明があり、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どういう」「どうやって」「なぜ」の問いを示している。 ○ 導入の活動として、「経済の入り口」で、「コンビニの経営者と支持者になって、新たなサービスについて考えてみましょう。」という活動を設け、説明文やイラストを示している。

○ 「どうして経済を学ぶの?」「経済を学習するにあたって」で、第4章で考えること、学ぶことについて示している。

【具体例】(私たちと経済)

第4章「私たちの生活と経済」

「経済(「経世済民」)のしくみとはどのようなものでしょうか。経世済民(「世を経め民を済う」)の世の中にするには、どんな社会を築いていけばいいのでしょうか。」

○ 「どういうしくみになっているのかな。」

○ 「魚はどうやって食卓に届くのだろう。」

○ 「郊外に大きなショッピングセンターが増えたのはなぜかな。」

○ 第1節「私たち消費者は、どのような形で経済活動に関わっているのでしょうか。」

○ 第2節「経済社会において企業が果たす役割と責任は何でしょう。」

○ 第3節「金融市場での取引は、国民生活とどのような関係にあるのでしょうか。」

○ 第4節「国民の福祉実現のため、政府はどのような役割を担っているのでしょうか。」

【社会（公民的分野）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方 法	○持続可能な社会の形成に関わる課題例及び課題解決の手順

発行者	調査・研究内容
東書	【課題例】 ○ 情報・技術 ○ 人権・平和（多様性の尊重） ○ 伝統・文化 ○ 環境・（資源・）エネルギー ○ 防災・安全 ○ 近江八幡市を例に、課題の設定（課題の把握）、資料の収集と読み取り（課題探究）、意思決定、提案参加を示している。 【課題解決の手順】 1 課題の設定（課題把握） 「持続可能な社会の形成者として」 2 資料の収集と読み取り（課題探究） 「持続可能な社会を実現するために」 3 意思決定 4 提案参加 「中間発表（スライド作成）」「最終発表（レポート作成）」
教出	【課題例】 ○ 環境・資源 ・自然災害 ・環境破壊・公害 ・エネルギー及び資源の枯渇 等 ○ 平和・人権 ・戦争・紛争・テロ ・差別・偏見 ・信仰・宗教の布教と対立 ・体罰 等 ○ 経済 ・経済格差の拡大と貧困 ・日本国内の超高齢・人口減少社会の進展 等 ○ 健康 ・HIV、鳥インフルエンザ、新型コロナウイルスなど感染症・疾病 等 ○ 教育・文化 ・識字率 ・世界遺産・地域遺産の保護と破壊 等 ○ 情報 ・ICT環境 ・PC・インターネット・スマートフォン 等 ○ 犯罪 ・地域や学校などで起こる犯罪・事件 等 【課題解決の手順】 1 持続可能な未来をつくるために、私たちに必要なことはどのようなことでしょうか。 2 私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成するには、どうしたらよいでしょうか。 3 『私の提案』をもとに対話を行うと、さらにどのような未来が描けるのでしょうか。

帝国	【課題例】 ○ 現代社会 テーマ「少子化への対応」 ・政府の対策 ・海外の事例 ○ 憲法 テーマ「夫婦別氏の是非」 ・海外の事例 ・裁判所の判決 ○ 政治 テーマ「一票の格差の解消」 ・一票の格差の現状 ・海外のさまざまな選挙区の区割り ・今後の人口動向 ○ 経済 テーマ「増加する医療費への対応」 ・近年の医療制度の改革 ・海外の事例 ○ 国際 テーマ「日本の難民支援のあり方」 ・日本や主な国の難民の受け入れ状況 ・難民条約 ・国連難民高等弁務官事務所の活動 ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 【課題解決の手順】 1 課題を決めよう（課題の設定） 2 資料を集めよう（資料の収集と読み取り） 3 考察しよう（考察） 4 レポートを書こう（構想とまとめ）
日文	【課題例】 ○ 伝統・文化 ・地域の年中行事 ・日本の宗教 ・伝統的な芸術 ・世界遺産 ・観光 ・多文化共生社会 等 ○ 政治・経済 ・社会保障、年金 ・財政赤字 ・消費者問題 ・為替相場 ・外交 ・防衛 ・防災 ・減災 ・領土問題 ・世代間の公正 等 ○ 人権・平和 ・女性 ・子ども ・外国人 ・アイヌ ・障がいのある人 ・南北問題 ・労働 ・憲法9条 ・核兵器 ・PKO 等 ○ 環境・科学・技術 ・地球温暖化 ・生物多様性 ・循環型社会 ・遺伝子操作 ・臓器移植 ・尊厳死 ・宇宙開発 ・人工知能 ・IoT社会 等 ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 【課題解決の手順】 1 テーマの設定 2 資料の収集と読み取り 3 考察と構想 4 まとめと評価
自由社	【課題例】 ○ 日本の国際貢献 ・環境のための国際貢献 ・日本型ODA ・平和のための国際貢献 ○ 日本の安全と世界の安全 ・核兵器廃絶とわが国 ・わが国の生き残りを ・人間の安全保障を

	○ 持続可能な日本と世界 ・世界に貢献する基礎 ・持続可能な世界 ・良い公民になるために 【課題解決の手順】 1 課題を見つけよう 2 選択した課題について調べよう 3 解決の方法を考えてみよう 4 卒業論文にまとめる
育鵬社	【課題例】 ○ 社会 ・世界をおもてなしできる国 ・子どもの笑顔があふれるまち ・元気で100歳！みんながイキイキしている社会 ○ 政治・経済 ・地方がキラキラしている国 ・ものづくりのまち ・働く喜びを実感できる社会 ○ 国際 ・「世界のお医者さん」と呼ばれる国 ・世界の平和と安全に貢献する国 ・クールジャパンを発信する企業 ○ 環境・食料 ・水と緑と風薫る国 ・「もったいない」精神のまち ・省エネ推進社会 【課題解決の手順】 1 テーマを決めよう 2 課題探求の計画を立てよう 3 プレゼンテーションしよう 4 内容の見直し 5 レポート作成

【社会（公民的分野）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧単元や資料等の配列・分量
方 法	○各大項目のページ数

発行者	調査・研究内容
東書	私たちと現代社会 31ページ ○ 現代社会と私たち 私たちと経済 52ページ ○ 私たちの暮らしと経済 私たちと政治 92ページ ○ 個人の尊重と日本国憲法 ○ 現代の民主政治と社会 私たちと国際社会の諸課題 43ページ ○ 地球社会と私たち ○ より良い社会を目指して その他 28ページ
教出	私たちと現代社会 26ページ ○ 私たちの暮らしと現代社会 私たちと経済 64ページ ○ 私たちの暮らしと経済 ○ 安心して豊かに暮らせる社会 私たちと政治 90ページ ○ 個人を尊重する日本国憲法 ○ 私たちの暮らしと民主政治 私たちと国際社会の諸課題 44ページ ○ 国際社会に生きる私たち ○ 私たちが未来の社会を築く その他 46ページ
帝国	私たちと現代社会 28ページ ○ 現代社会 私たちと経済 66ページ ○ 経済 私たちと政治 86ページ ○ 政治 私たちと国際社会の諸課題 43ページ ○ 国際 ○ 課題探究学習 その他 39ページ
日文	私たちと現代社会 32ページ ○ 私たちと現代社会 私たちと経済 60ページ ○ 私たちの生活と経済

	私たちと政治 90ページ ○ 私たちの生活と政治 私たちと国際社会の諸課題 43ページ ○ 私たちと国際社会 その他 49ページ
自由社	私たちと現代社会 42ページ ○ 現代日本の自画像 ○ 個人と社会生活 私たちと経済 44ページ ○ 国民生活と経済 私たちと政治 78ページ ○ 立憲国家と国民 ○ 日本国憲法と立憲的民主政治 私たちと国際社会の諸課題 60ページ ○ 国際社会に生きる日本 ○ 持続可能な社会を目指して その他 46ページ
育鵬社	私たちと現代社会 28ページ ○ 私たちの生活と現代社会 私たちと経済 54ページ ○ 私たちの生活と経済 私たちと政治 80ページ ○ 私たちの生活と政治ー日本国憲法の基本原則ー ○ 私たちの生活と政治ー民主政治と政治参加ー 私たちと国際社会の諸課題 36ページ ○ 私たちと国際社会の課題 その他 64ページ

【社会（公民的分野）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑨社会参画への意識を高める工夫
方 法	○「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例

発行者	調査・研究内容
東書	○ 「現代の民主政治と社会」の章末において、2ページを使い、「S市の議員になって条例を作ろう」という学習課題を設定している。「ここまでの政治についての学習を生かし、あなた自身がS市の議員になったつもりで、まちをより活性化するために、地方公共団体の法である「条例」の案を作って、議会に提出しましょう。」を示し、学習活動を設定している。 (1) あなたが考える活気あるまちを、ステップチャートの「理想のまち」欄に記入しましょう。 (2) S市の課題を見て、あなたが解決したい課題を一つ選び、「課題」の欄に記入しましょう。 (3) 課題を解決し、まちに活気を取り戻すための解決策を考えて、グループで意見交換しましょう。グループでの話し合いを受けて、より良い解決策を考え、「解決策」の欄に記入しましょう。 (4) (3)の解決策を決まりの形に整え、「条例案」の欄に記入しましょう。その際、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点や、次の点を参考にしましょう。 (5) あなたが暮らすまちがかかえる課題を調べてグループで話し合い、それを解決するためにどのような条例があったらよいか、ステップチャートを活用して考えましょう。 ○、章の導入で示した探究課題「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」について、文章で記述する活動を設けている。 ・キャラクターの吹き出しで、「持続可能性」、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点到に着目してまとめるように示している。
教出	○ 「私たちの暮らしと民主政治」の章末において、3ページを使い、第3章の「日本国憲法に基づいてよりよい社会をつくるために、私たちは政治とどのように関わればよいだろうか。」の問いをこれまでの学習を振り返りながら自分の意見をまとめる学習活動を設定している。 ①各節で学習したことを振り返ろう ・1節ごとに学習したキーワードや問いに対する答えをまとめる。 ②「第3章の学習のはじめに」を振り返ろう ・「学習のはじめに」で答えた回答と「これまでの学習をふまえた現在の回答」を比較する。 ・変化があった場合、変化の理由を書き出す。 ・「第3章の学習のはじめに」で意見交換した友だちと、再度意見交換する。 ③「第3章の問い」について考えよう ・第3章の問いに対する答えと、その考えた理由をクラゲチャートを使って整理する。 (視点：対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義) ・クラゲチャートを参考に記述する。

	④未来のためにできること ・「合唱コンクールで歌うクラスの曲をどうするか」の話し合いについて考える。 ・神奈川県川崎市の高校生が、川崎のまちを舞台にプロジェクトを企画して実行する「川崎ワカモノ未来PROJECT」に関する資料を読んで、あとの問いについて考える。 ○ 「次章の学習に向けて」を設け、第3章までの学習をふまえて、キャラクターの吹き出しの意見に対する現在の考えを書かせる。
帝国	○ 「政治と私たち」の章末において、2ページを使い、「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」という学習活動を設定している。学習課題として、「地方自治の役割や地方公共団体の仕事、財政状況などを学習しました。私たちは、主権者として地方自治に関わっています。自分が住むまちをよりよくするための予算案を作成してみましょう。」と示している。 1 まちの課題と対策をカードを使って考えよう 調べたまちの課題と、調べた課題の対策をカードに書いてグループで持ち寄ろう。／同じテーマや関連のあるカードごとにまとめて、共通するタイトルカードをつくろう。／カードのまとまりごとに＜関連＞＜対立＞＜原因と結果＞など、関係性が分かるように配置を工夫しよう。／整理した対策のなかから、四つを選び、歳出のどの項目に当たるか考えよう。／住民の立場に立って、予算案を考えます。それぞれどのような困りごとがあるか話し合ってみよう。 2 対策の優先順位とまちの政策方針を考えよう 住民のいずれかの立場に立って、1で選んだ四つの対策に優先順位をつけてみよう。／「安全・安心」「福祉・教育の充実」「経済の活性化」「環境対策」のなかから、まちの政策方針の一つ選ぼう。 3 まちの魅力を生かす予算案を作成しよう 2で考えた対策の優先順位と政策方針をもとに、下のア～キのなかから増やす歳出項目と減らす歳出項目を考えよう。／予算案を円グラフにまとめて、キャッチフレーズをつけてみよう。
日文	○ 「私たちの生活と政治」の編末において、2ページを使い、「自分たちのまちの首長を選ぼう」という学習課題を設定している。「あなたの住むまちで、首長を選ぶ選挙が行なわれることになりました。まちの課題について調べ、よりよいまちづくりが期待される首長を選ぶ、模擬選挙をしてみましょう。」と示し、学習活動を設定している。 1 まちの課題を出し合おう ・あなたの住むまちには、どのような課題があり、その課題に対して地方公共団体はどのような取り組みを行なっているのでしょうか。調べてみましょう。地理や歴史で学習した内容からも考えてみましょう。／インターネットで、地方公共団体のウェブサイトを見てみましょう。 ・調べた課題のなかから、特に重要視したいものを一つ選びましょう。 ・グループになり、選んだ課題や選んだ理由を共有しましょう。 2 政策について検討してみよう ・あなたのまちの首長に、次の3人が立候補しました。候補者の政策案について検討してみましょう。 ・これまでに調べた地域の課題と候補者の政策案を比較して、政策に付け加えて欲しいことがあれば発表しましょう。／また、もし全く新しい政策案があれば、

	新たに架空の候補者を立ててみても構いません。 3 模擬選挙をしてみよう ・支持する候補者を選び、投票しましょう。／模擬選挙の結果が出たら、よりよいまちづくりのためにはどのようなことが大切か、あなたの考えをまとめてみましょう。 ○ キャラクターの吹き出しで「どのような」「～はあるかな」「～できるかな」「どうなっているのかな」等の問いがある。 ○ 学習活動に関連する内容のページ数を書いてある。
自由社	○ 「日本国憲法と立憲的民主政治」の章末において、2ページを使い、「総合的な安全保障問題を考えよう」という学習課題を設定している。食料問題・防災問題・防犯問題について、調べ、話し合い、グループでまとめ、発表する活動を設定している。 ・皆さんの発言から、防衛問題だけではなく、①食料問題、②防災問題、③防犯問題、④水問題、⑤医療保険問題、⑥エネルギー問題が広い意味での安全保障問題として考えられるね。④水問題と⑤医療保険問題とは第4章で、⑥エネルギー問題は第5章で学びますから、残りの3つの問題について研究しましょう。 4～6人の班を作って、図書室やインターネットを利用し、わが国の現状について調べ学習をしましょう。各々が調べた内容を持ち寄り、話し合っ、600字程度で班としての研究結果をまとめましょう。
育鵬社	○ 「私たちの生活と政治」の章末において、2ページを使い、「政治のこれから」という学習活動を設定している。学習課題として、「自分たちの住む地域をより良くするために、どのようなまちづくりが必要か、考えてみましょう。」と示している。 ・自分の住むまちの特色と課題を調べよう 自分たちが住む地域の課題を解決し、特色を生かして、より良くするためにはどうすればいいでしょうか。どのような課題があるか、どのような特色があるか、1項目ずつカードに書き出してみましょう。 ・カードを整理しよう 模造紙に関連のあるカードごとにまとめて整理し、見出しを付けてみましょう。 ・テーマについてランキングを付けよう ①②の見出しをつけた項目について同時にすべて取り組むことはできません。そこで重要度や必要度に応じて、ランキング（順位づけ）をして、ピラミッド型に配置して自分自身のランキングシートをつくりましょう。／②次に班（4～6人）をつくり、全員で一致する1つのランキングシートをつくってみましょう。／③クラス全体の意見を集約し、クラスのランキングシートをつくってみましょう。

【社会（公民的分野）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方 法	○資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数

発行者	調査・研究内容
東書	【「私たちと政治」における資料の種類及び掲載】 ○ 絵図 59 ○ 写真 123 ○ 地図 3 ○ 表・グラフ 43 ○ 新聞 12 ○ 年表 2 ○ 文書資料 14 ○ 二次元コード 47
教出	【「私たちと政治」における資料の種類及び掲載】 ○ 絵図 48 ○ 写真 77 ○ 地図 4 ○ 表・グラフ 55 ○ 新聞 3 ○ 年表 3 ○ 文書資料 6 ○ 二次元コード 10
帝国	【「私たちと政治」における資料の種類及び掲載】 ○ 絵図 47 ○ 写真 79 ○ 地図 4 ○ 表・グラフ 47 ○ 新聞 3 ○ 年表 1 ○ 文書資料 5 ○ 二次元コード 14
日文	【「私たちと政治」における資料の種類及び掲載】 ○ 絵図 58 ○ 写真 110 ○ 地図 3 ○ 表・グラフ 61 ○ 新聞 9 ○ 年表 2 ○ 文書資料 16 ○ 二次元コード 44

自由社	【「私たちと政治」における資料の種類及び掲載】 ○ 絵図 27 ○ 写真 68 ○ 地図 0 ○ 表・グラフ 17 ○ 新聞 4 ○ 年表 0 ○ 文書資料 4 ○ 二次元コード 0
育鵬社	【「私たちと政治」における資料の種類及び掲載】 ○ 絵図 44 ○ 写真 116 ○ 地図 3 ○ 表・グラフ 33 ○ 新聞 13 ○ 年表 1 ○ 文書資料 32 ○ 二次元コード 2

【社会（公民的分野）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方 法	○ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

発行者	調査・研究内容
東書	【フォント・グラフ】 ○ ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 【レイアウト等】 ○ 本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色を付け、本文との区別をしている。 ○ ページの隅の色分けと見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。
教出	【フォント・グラフ】 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 【レイアウト等】 ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと見開きページ右側のインデックス、左ページの下部への記載で、学習内容を示している。
帝国	【フォント・グラフ】 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 【レイアウト等】 ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。 ○ 図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。

日文	【フォント・グラフ】 ○ ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用している。 ○ 小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所と、全ての重要語句にルビが付いている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 【レイアウト等】 ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。
自由社	【フォント・グラフ】 ○ 重要語句は、ゴシック体（太字）を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは色を変えている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 【レイアウト等】 ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ 見開きページ隅の色分けと、見開きページ左下の文字で、学習内容を示している。
育鵬社	【フォント・グラフ】 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ ふりがなには、ゴシック体を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切ったり色を変えたりしている。 ○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、主となるグラフの中に違うデータが含まれる場合は、色を変えたり斜線を入れたりしている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 【レイアウト等】 ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けで、学習内容を示している。 ○ 図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。

令和6年 7 月 25 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 地図

代表者 呉市立警固屋中 学校

氏名 森 寛子

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【地図】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①地図の活用を促す工夫
方 法	○地図の見方の記載と内容及び地図を活用した調べ方の事例

発行者	調査・研究内容
東書	〔地図の見方の記載とその内容〕 ○ 巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。 ○ 巻頭ページに「この地図帳の活用方法」を設け、一般図や主題図等の見方や読み取り方、デジタルコンテンツの使い方といった地図の活用方法を記載している。 ○ 巻末に「地形図の読み取り」では、「主な地形図の記号」と縮尺、等高線、方位の説明を記載している。 〔地図を活用した調べ方の事例〕 ○ 巻頭に記載されている「この地図帳の活用方法」において、ヨーロッパ州を例に挙げ、地図の活用方法について記載している。 ・「一般図を見てみよう」 「ページ番号」「国旗」「陸地の高さや海の深さ」「位置図」「インデックス」等についての解説を記載している。 ・「主題図を見てみよう」 「表現したいテーマの広がりや表す」「地域ごとの数値を色で表す」「図形の大きさで数値を表す」等を例に挙げ、それぞれの資料が表す内容を記載している。 ・「地図帳を活用して学習を深めよう」 - 歴史的分野や公民的分野との関連を示すマークと、SDGsとの関連を示すマークを例に挙げ、活用できる資料の一部とともに記載している。 ・「デジタルコンテンツを活用しよう」 - 主なデジタルコンテンツを記載している。 ・「デジタル地図を使ってみよう」 - 主なデジタル地図を記載している。 ・キャラクターの吹き出しによる解説を記載している。 【具体例】 主題図には、地域別の数量や割合、移動などの数値を地図上に表す図があるよ。さまざまな種類の主題図を見てみよう。
帝国	〔地図の見方の記載とその内容〕 ○ 巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。 ○ 巻頭に「この地図帳の使い方」を設け、一般図、鳥瞰図、主題図等の見方や使い方といった地図の活用方法を記載している。 ○ 巻末に「国土地理院の地形図」では、「地形図のおもな記号」と地形図、縮尺の説明を記載している。 〔地図を活用した調べ方の事例〕 ○ 巻頭に記載されている「この地図帳の使い方」の（１）（２）において、オセアニア州や富山県を例に挙げ、地図の活用方法について記載している。 ・「小学校で学習した地図の約束を振り返ろう」 「方位」「地図記号」「色」「縮尺」についての解説を記載している。

- ・「地図帳の見方・使い方を確認しよう」
一般図が示され、「図タイトル」「縮尺とスケールバー」「凡例」等の説明を記載している。「一般図」「鳥瞰図」「主題図」について、オセアニア州の資料のページでどのように記載されているかを示している。他分野との関連やSDGsとの関連を示すマークを例に挙げ、オセアニア州の資料とともに記載している。
 - ・「地図帳を使いこなそう」
「さくいん」「統計」「問いコーナー「地図で発見！」」の説明を記載している。
 - ・「地図の見方をおさえよう」
地図を読み解くポイントを示している。
 - ・「テーマを決めて地図から読み取ろう」
「交通の結びつきと工業」を例に、テーマを決めて地図から読み取ることについて記載している。
 - ・キャラクターの吹き出しによる解説を記載している。
- 【具体例】
別テーマの主題図と比べることによって、その地域の特徴がより深く理解できるね。

【地図】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	○国土の地理的環境及び歴史的事象が記載された地図の例

発行者	調査・研究内容
東書	〔国土の地理的環境の例〕 ○ 「日本全体」で、近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、自然災害、文化、人口、農林水産業、資源・エネルギー、工業・貿易、交通・通信に関する資料や統計を記載している。 〔歴史的事象が記載された地図の例〕 ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 ・「原子爆弾投下時の長崎市」 ・「広島市中心部」 ・「地形と水系から読み解く大阪・京都・奈良の歴史と治水」 ・「江戸時代（17世紀末ごろ）の大阪」 ・「神戸市内」 ・「奈良市内」 ・「京都市内」 ・「地形と水系から読み解く東京の歴史と治水」 ・「江戸時代末期の江戸」 ・「1856年ごろの江戸」 ・「明治時代の開拓とアイヌ語由来の地名」 ○ 日本全体についての歴史に関する資料 ・日本の主な公害 ○ 巻末に「日本の周辺」を記載している。 ○ 巻末に「旧国名1868（明治元年）」を記載している。
帝国	〔国土の地理的環境の例〕 ○ 「資料のページ」で、近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、自然災害・防災、人口、鉱産資源、工業、農業・水産業、交通・観光、歴史・生活・文化に関する資料や統計を記載している。 〔歴史的事象が記載された地図の例〕 ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 ・「沖縄県」 ・「長崎市」 ・「北九州工業地帯の変化」 ・「瀬戸内海周辺の歴史」 ・「広島市中心部」 ・「大阪湾周辺の地形－地形と歴史・防災－」 ・「近畿地方の歴史・文化・観光」 ・「江戸時代の大阪」 ・「奈良市中心部」 ・「京都市中心部」

	・「本州中央部と五街道」 ・「東京都周辺の地形－水と人の関わり・防災－」 ・「江戸」 ・「日本とロシア・ソ連の国境の変遷」 ・「アイヌ語地名と開拓の歴史」 ・「石狩平野の土地改変」 ○ 日本全体についての歴史に関する資料 ・「日本の公害」 ・「鉄道の発達による時間距離の変化」 ・「日本の歴史・生活・文化」 ○ 巻末に「日本の領土とそのまわりの国々」を記載している。 ○ 巻末に「昔の国名と国境」を記載している。
--	--

【地図】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	③思考力、判断力、表現力等を育む工夫
方 法	○思考力、判断力、表現力等の育成を促す記載内容

発行者	調査・研究内容
東書	○ 歴史、公民、SDGsとの関連を示すマークを設けている。 ○ 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設定している。 【具体例】「稲作」(P. 16②世界の食文化) ○ 「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をする」キャラクターとして「ミツパチー」を設定し、資料活用コーナーを設けている。 【具体例】 ①アフリカ州の資料② 4 モノカルチャー経済 ・「図④によると、特定の品目の輸出割合が高い国では、どのような物の輸出が盛んかな。」 ②近畿地方の資料 9 人口増減率、10 人口ピラミッド ・「図⑨ ⑩から、人口増加率と年齢構成との関係を見つけよう。」 ③日本の工業・貿易 1 工業生産額とその内訳、2 工業地域の分布、4 貿易港別の貿易額 ・「図① ② ④を見て、工業が盛んな地域と、貿易が盛んな地域とを照らし合わせてみよう。」 ④アジア州の資料 ・「アジアで人口密度が高い地域と低い地域はそれぞれどんな自然環境の地域かな。」
帝国	○ 歴史、公民、SDGsとの関連を示すアイコンや「防災」「環境」「日本との結びつき」コーナーを設けている。 ○ 別のページにある関連する資料とのつながりを示す「リンク」というマークを設定している。 【具体例】「日本の気候区分」(P. 176⑥) ○ 社会科の学習内容を、地図を基に確認したり深めたりする問いのコーナー「地図で発見！」を設定している。 【具体例】 ①アフリカ州の資料(2) 2 砂漠化が進むサヘルと都市への人口集中 ①サヘルのようす(マリ)、②都市に住む人々の割合の変化 ・「世界各地で進行している砂漠化は、地球規模の気候の変化と、その地域に暮らす人々の生活の両方に原因があると考えられている。サヘルでは、人々のどのような営みや変化が砂漠化に影響を与えているか、① ②から考えて答えよう。」 ②オセアニア州の資料 7 移民の出身地 ・「オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているか、③ ④図を確認して答えよう。」 ③中国・四国地方の資料 6 中国・四国地方の交通と人口密度の変化 ・「1970年と2020年の地図で、1km²あたりの人口密度がともに20

	0人以上のところと、20人未満のところはどのような地域か、地形や交通に着目して答えよう。」 ④東京都周辺の地形 ・「東部・中央部・南部で起こる可能性がある自然災害を、P159～162も参考にしながら、地形に着目して考えよう。」 ○ ページ全体に関わる主題を示す「主題学習」のコーナーを設けている。 【具体例】 「日本の工業には、どのような特色があり、どのような分布がみられるだろうか。」
--	--

【地図】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	④目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方 法	○地図を活用した表現の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	○ 「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をするミツバチーズ」というキャラクターを設定し、資料活用コーナーを設け、地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる問いとして157問記載している。 【具体例】 ・「1月に日本海側で降水量が多くなる仕組みを説明しよう。」
帝国	○ 「地図で発見！」のコーナーを設け、社会科の学習を、地図をもとに確認したり深めたりする問いとして156問記載している。 【具体例】 ・「渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由を、水や輸送、消費地の面から調べ、説明しよう。」

【地図】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方 法	○課題を追究するための資料の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	○ 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。 中国・四国地方 中国・四国地方の一般図 ・中国地方、広島市中心部、竹島 ・四国地方 ・瀬戸内地方 中国・四国地方の資料 ①地形 ②降水量 ③人口分布 ④土地利用 ⑤工業・交通 ⑥瀬戸内地方の工業地域 ⑦人口増減率 ⑧本州と四国との間の自動車交通量 ⑨交通網の変化
帝国	○ 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。 中国・四国地方 中国・四国地方の一般図 ・中国地方、広島市中心部、竹島 ・四国地方 ・瀬戸内海周辺 中国・四国地方の資料 ①自然 ②降水量 ③人口分布 ④農業 ⑤工業・交通 ⑥中国・四国地方の交通と人口密度の変化 ⑦鳥取砂丘 ⑧水島コンビナート ⑨広島市付近にある水害の碑の分布 ⑩八幡浜市のみかん栽培 ⑪高知平野の野菜づくり

【地図】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥題材や資料等の配列
方 法	○内容の構成、配列及びページ数

発行者	調査・研究内容
東書	〔構成〕 ○ A4判 ○ 「世界全体」「日本全体」「世界や日本の地域ごと」「統計」「さくいん」に分類し、インデックスを5つに分類し色分けをしている。また、「世界」を「世界全体」「州」、「日本」を「日本全体」「地方」で分類し、色分けしている。 〔配列及びページ数〕 ①世界と日本の資料図 32ページ 世界の地形、世界の気候、世界と日本の環境問題、世界の生活・文化、日本の自然環境（地形）、日本の自然環境（気候）、日本の自然環境（自然災害）、世界と日本の文化、世界の人口、日本の人口、世界の農林水産業、日本の農林水産業、世界と日本の資源・エネルギー、日本の工業・貿易、世界と日本の交通・通信、世界の経済・国際関係 ②世界の諸地域 50ページ ③日本の諸地域 64ページ ④統計 5ページ 世界の統計、日本の統計 ⑤さくいん 9ページ ⑥巻頭・巻末 16ページ ・巻頭 目次、世界全図、この地図帳の地図記号、この地図帳の活用方法、現代社会の課題を解決するために「SDGs」を知ろう！ ・巻末 地形図の読み取り、著作権関係者、日本の周辺、都道府県の区分、旧国名、日本列島①、日本列島②、小笠原諸島 総ページ数 176ページ
帝国	〔構成〕 ○ A4判 ○ 「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」でインデックスを5つに分類し色分けしている。 〔配列及びページ数〕 ①世界と日本の資料図 28ページ 世界の地形、世界の気候、世界の生活・文化（1）、世界の生活・文化（2）、日本の地形、日本の気候、日本の自然災害・防災（1）、日本の自然災害・防災（2）、世界と日本の人口、世界と日本の鉱産資源、日本の工業、日本の農業・水産業、世界と日本の交通・観光、日本の歴史・生活・文化 ②世界の諸地域 58ページ ③日本の諸地域 74ページ ④統計 9ページ

	自然の統計、世界の統計（１）、世界の統計（２）、日本の統計（１）、日本の統計（２）
⑤	さくいん １１ページ
⑥	巻頭・巻末 １８ページ
	・巻頭
	もくじ、世界の国々、この地図帳の凡例、この地図帳の使い方（１）、この地図帳の使い方（２）、地図で考える持続可能な社会（１）、地図で考える持続可能な社会（２）、地図で考える持続可能な社会（３）、地図で考える持続可能な社会（４）
	・巻末
	国土地理院の地形図、都道府県と昔の国名、日本の領土とそのまわりの国々
	総ページ数 １９８ページ

【地図】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦防災教育の充実
方 法	○地図を活用した記載の具体例

発行者	調査・研究内容
東書	○ 防災教育について、掲載箇所は次のとおりである。 ・首都圏外郭放水路（P 1 1 6 ⑩） ・東日本大震災の地震と津波（P 1 1 8 ⑨） ・東日本大震災前後の街並みの変化（P 1 1 8 ⑩） ・北海道の地形と自然災害（P 1 3 0 ⑥） ・日本の自然環境（自然災害）（P 1 3 5・P 1 3 6） 【具体例】 ・「日本の自然環境（自然災害）」（P 1 3 5）の「1地形と自然災害」では、過去の大地震の震源地、火山の分布図が掲載してある。 ・「日本の自然環境（自然災害）」（P 1 3 5）の「2倉敷市真備地区の洪水・土砂災害ハザードマップ」では、倉敷市真備地区の洪水・土砂災害ハザードマップが記載してある。 ・「日本の自然環境（自然災害）」（P 1 3 6）の「3自然災害への備え」では、自然災害の例や防災施設の例を示している。さらに平成30年7月豪雨の土砂災害及び浸水した地域の写真や、滋賀県の砂防ダムの写真が掲載してある。 ・「日本の自然環境（自然災害）」（P 1 3 6）の「4平成30年豪雨による浸水推定図」では、平成30年7月豪雨の倉敷市真備町の浸水推定図が記載してある。
帝国	○ 防災教育について、掲載箇所は次のとおりである。 ・島原半島の火山災害への備え（P 9 2 ⑫） ・広島市付近にある水害の碑の分布（P 1 0 2 ⑨） ・神戸市付近の地震災害への備え（P 1 0 3 ②） ・大阪湾周辺の地形－地形と歴史・防災－（P 1 0 7 ①・P 1 0 8） ・富士山噴火時の降灰予想（P 1 1 8 ⑤） ・洪水への備え（P 1 2 5 ③） ・東京都周辺の地形－水と人の関わり・防災－（P 1 3 3 ①・P 1 3 4） ・都市型洪水への備え（P 1 4 0 ⑦） ・東京都の大規模災害への備え（P 1 4 0 ⑧） ・宮古市（田老）の津波への備え 震災の被害と復興（P 1 4 2 ⑫） ・札幌市の雪への備え 除雪や融雪の取り組み（P 1 5 4 ⑩） ・日本の自然災害・防災（1）（P 1 5 9・P 1 6 0） ・日本の自然災害・防災（2）（P 1 6 1・P 1 6 2） 【具体例】 ・防災に関する資料図には【防災】のマークを付け、掲載している。 ・「広島市付近にある水害の碑の分布」（P 1 0 2 ⑨）では広島市周辺のイラストの地形図に水害の碑がある場所と過去に土砂災害があった主な地域が記載してある。 ・「日本の自然災害・防災（1）」（P 1 5 9・P 1 6 0）の「①日本の地震と火山の分布」では、見開き2ページにわたる日本の地形図（海底地形も表現）に過去のおもな地震の震源地とプレートの境界、移動方向を記載している。「②南海トラフ沿い

で発生した過去の巨大地震」「③東日本大震災の被害」を示す図を記載しており、地震の揺れで倒壊した建物や噴火による火山灰や岩石の被害の写真も掲載してある。また「④災害に対する備え」として自然災害や防災へのさまざまな取組への模式図が記載してある。

・日本の自然災害・防災（２）」（P 1 6 1 ・ P 1 6 2）の「①日本の気象災害」では、見開き２ページにわたって大雨や台風、高潮、大雪の被害箇所が示してあるとともに、写真が掲載してある。「②線状降水帯」では線状降水帯のしくみや降水の様子レーダー画面が示してある。「③台風」では主な台風の進路としくみ、降水のようすのレーダー画面が示してある。「④ハザードマップ（洪水）」では洪水に対するハザードマップを示しており、「⑤地形図から読み取る浸水被害」では熊本県人吉市の地形図を示しながら、洪水による推定浸水範囲を掲載している。

【地図】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧学習内容との関連付けがなされた地図や資料等の取扱い
方 法	○地図の種類と縮尺及び資料等（二次元コードを含む）の活用方法の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	[地図の種類と縮尺] 世界全図 ○赤道上の距離を示している。 世界の広域地図 ○ 6000万分の1～6500万分の1 ・北極圏（6500万分の1） ・南極圏（6500万分の1） ・環大西洋（6500万分の1） ・環太平洋・環インド洋（6000万分の1） 世界の各地域の地図 ○ 1500万分の1～3500万分の1 ・アジア（2700万分の1） ・東アジア（1600万分の1） ・東南アジア（2000万分の1） ・南アジア・西アジア（2000万分の1） ・ヨーロッパ（1600万分の1） ・ロシア連邦（2200万分の1） ・アフリカ（3500万分の1） ・北アメリカ（3500万分の1） ・アメリカ合衆国（1500万分の1） ・南アメリカ（3000万分の1） ・オーストラリア・ニュージーランド（2000万分の1） その他（世界） ○ 150万分の1～800万分の1 ・チューリッ河口部（150万分の1）、台湾（400万分の1）、朝鮮半島（400万分の1）、イスラエル周辺（400万分の1）、ヨーロッパ中央（800万分の1）、ハワイ諸島（800万分の1） 日本全体 ○ 1000万分の1、600万分の1 ・日本列島①（1000万分の1）、日本列島②（600万分の1） 日本の各地方地図 ○ 200万分の1、100万分の1 ・北海道地方（200万分の1） ・九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方、中部地方、新潟県、関東地方、東北地方、北海道地方南部、北海道地方北部（100万分の1） 日本のある地域の拡大図 ○ 50万分の1、5万分の1、2万分の1 ・沖縄島、九州地方北部、瀬戸内地方、近畿地方中央部、東海地方、新潟市周辺、

	関東地方南部、仙台市周辺、札幌市周辺（５０万分の１） ・広島市中心部、大阪市内、神戸市内、奈良市内、京都市内、東京中心部、札幌市中心部（５万分の１） ・東山区付近（２万分の１） その他（日本） ○ ５万分の１～７００万分の１ ・千島列島（７００万分の１） ・小笠原諸島（６００万分の１） ・南西諸島（５００万分の１） ・喜界島、奄美群島、奄美群島南部、伊平屋島、伊是名島、慶良間列島、大東諸島、宮古列島、八重山列島、与那国島、対馬、五島列島、大隅諸島、伊豆諸島（１００万分の１） ・竹島（５万分の１） ・大阪・京都・奈良の歴史と治水、東京の歴史と治水（１５万分の１） 〔資料等の活用方法の示し方〕 ○ 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。 ○ デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを、８３か所記載している。
帝国	〔地図の種類と縮尺〕 世界全図 ○ ８８００万分の１ 世界の広域地図 ○ ３５００万分の１～９０００万分の１ ・アジア州（４０００万分の１） ・アフリカ州（３５００万分の１） ・南北アメリカ（４０００万分の１） ・南極（９０００万分の１） ・大西洋（６０００万分の１） ・太平洋・インド洋（６０００万分の１） 世界の各地域の地図 ○ １６００万分の１～３０００万分の１ ・東アジア（１６００万分の１） ・東南アジア（２０００万分の１） ・南・西・中央アジア（２０００万分の１） ・ヨーロッパ州（１６００万分の１） ・ロシア連邦とそのまわりの国々（２０００万分の１） ・アメリカ合衆国（１６００万分の１） ・南アメリカ州（３０００万分の１） ・オーストラリア・ニュージーランド（２０００万分の１） その他（世界） ○ ４０万分の１～１０００万分の１ ・ホンコン・マカオ（１００万分の１）、台湾（４００万分の１）、朝鮮半島（３００万分の１）、シンガポール（５０万分の１）、イスラエル・パレスチナ（２５０

万分の1)、ヨーロッパ中央部(800万分の1)、ハワイ諸島(800万分の1)、サモア(300万分の1)、タヒチ島(250万分の1)、ラパヌイ(イースター)島(100万分の1)、ガラパゴス諸島(1000万分の1)、ツバル(40万分の1)、フィジー(650万分の1)、トンガ(150万分の1)

日本全体

○ 500万分の1

・日本列島(1)、日本列島(2)

日本の各地方地図

○ 200万分の1、100万分の1

・北海道地方(200万分の1)

・九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方、中部地方、福井県・石川県・富山県、新潟県、関東地方、東北地方、北海道地方南部、北海道地方北部(100万分の1)

日本のある地域の拡大図

○ 50万分の1、30万分の1、5万分の1

・沖縄島、九州地方北部、瀬戸内海周辺、近畿地方中部、中部地方南部、新潟市とそのまわり、関東地方南部、仙台市とそのまわり、札幌市とそのまわり(50万分の1)

・名古屋市とそのまわり(30万分の1)

・那覇市中心部、福岡市中心部、広島市中心部、神戸市中心部、大阪市中心部、奈良市中心部、斑鳩町付近、明日香村付近、京都市中心部、名古屋市中心部、東京都の中心部、横浜市中心部、仙台市中心部、札幌市中心部(5万分の1)

その他(日本)

○ 5万分の1～1000万分の1

・伊豆諸島・小笠原諸島(1000万分の1)

・千島列島(700万分の1)

・小笠原諸島(400万分の1)

・奄美群島、奄美群島南部、沖縄諸島、尖閣諸島、宮古列島、八重山列島、大東諸島、対馬、五島列島、大隅諸島、伊豆・小笠原諸島(100万分の1)

・竹島(5万分の1)

・大阪湾周辺の地形－地形と歴史・防災－、東京都周辺の地形－水と人との関わり・防災－(15万分の1)

[資料等の活用方法の示し方]

○ 関連する資料の参照ページを示す「リンク」を設けている。

○ デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを、56か所記載している。